

令和3年度 共通教育カリキュラムマップ

【科目一覧】

基礎教養科目群 人文科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSH0001	神話・伝説の世界から	全て	民衆の中から発生した文学の背景を見つめ、本質に触れながら作品を鑑賞し、多くの文学作品の根底に流れるものを読み取る力をつけることを目的とする。	神話の普遍性について考え、人類の文化を知る。
21GBSH0002	平安朝文学の世界	全て	平安朝の文学を通して、当時の人々の生活・風俗や考え方に触れ、我が国の文学や文化についての理解を深めることを目標とする。	古典文学作品を読解する基本的な能力を身につける。平安時代の人々の生活や考え方、文化について理解する。平安時代のさまざまな作品に触れることを通して、文学史の知識を身につける。
21GBSH0003	鎌倉時代の文学への誘い	全て	平家一門の盛衰の歴史を描いた軍記物語『平家物語』について学び、その文学的背景を複数の資料から読み解くことによって、日本の古典文学および日本文化への理解を深める。	①授業での説明を聞いたり、古語辞典を引いたりすることで、古典文学作品を自分なりに現代語訳することができる。 ②作者が生きた時代の政治動向・社会通念・宗教観などを学ぶことで、現代から遠く隔たった時代の文学作品を作者と同じ立ち位置で捉え、書かれた内容を説明することができる。 ③古典文学作品の作者や登場人物の心情を読み取り、現代と共通する点、その時代固有の点の双方があることに気づき、自分の言葉でまとめることができる。
21GBSH0004	芭蕉をめぐる人々	全て	「芭蕉」は交流のあった人々にどのような影響を与えかつ受けたのかを知ることができる。「芭蕉」は独自の俳諧を開拓するにあたって、多くの人の影響を受け、また多くの人に影響を与えている。この講座では、「芭蕉」はどのような人と関わり、どのような影響を受けたのか。また「芭蕉」らしさはいかにして形成されたのかを知ることができる。	「芭蕉」と交流のあった人々に対する彼の書簡や著作を読み解くことにより、「芭蕉」の人間性や考え方を理解し、その感性に触れることを目標とする。
21GBSH0005	雨月物語に込められた情念	全て	『雨月物語』は一般に怪異小説と受け取られていることが多い。しかし、その中には作者「上田秋成」の執着、執念などの思いが込められている。そういった情念を怪異譚の中から読み取ることができる。	『雨月物語』に込められた情念や「秋成」の主張する教訓的な内容を理解することが目標である。
21GBSH0006	芭蕉と旅	全て	「芭蕉」の旅の記録や作品である紀行に触れることによって、その俳文を通じて彼の人生そのものともいべき旅への想いと、その人生観・俳諧観にふれることができる。	「芭蕉」にとっての旅というものを通じて、彼独自の人生観や俳諧観を理解することが目標である。
21GBSH0007	「心中天網島」の女房「おさん」	全て	心中物に登場する当事者以外の人（脇役）でありながら、『心中天網島』において主役にも比すべき重要な役割を演じる「紙屋治兵衛」の女房「おさん」の心情やそれに基づく行動が理解できる。	「おさん」を初めとする登場人物それぞれの心の動きや、その妥当性・合理性を確認することが目標である。
21GBSH0008	日本近代文学の魅力Ⅰ	全て	近代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその内容を把握する。	作品内容の個別性と普遍性について考え、自分なりに解釈できるようになる。
21GBSH0009	日本近代文学の魅力Ⅱ	全て	近代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその内容を把握する。	作品内容の個別性と普遍性について考え、自分なりに解釈できるようになる。
21GBSH0010	平安時代の文学への誘い	全て	平安時代に清少納言によって書かれた『枕草子』の「日記・回想章段」について学び、その文学的背景を複数の資料から読み解くことによって、日本の古典文学および日本文化への理解を深める。	①授業での説明を聞いたり、古語辞典を引いたりすることで、古典文学作品を自分なりに現代語訳することができる。 ②作者が生きた時代の政治動向・社会通念・宗教観などを学ぶことで、現代から遠く隔たった時代の文学作品を作者と同じ立ち位置で捉え、書かれた内容を説明することができる。 ③古典文学作品の作者や登場人物の心情を読み取り、現代と共通する点、その時代固有の点の双方があることに気づき、自分の言葉でまとめることができる。
21GBSH0011	シェイクスピア入門	全て	「文学」と聞いたとたん顔そむける人や、「文学」なんて退屈で小難しいものだと決めつけてしまい毛嫌いする人がいるが、そういう人にこそこの講義は履修してもらいたい。「文学」の楽しさを味わってもらえれば、と願っている。	「文学」に対する理解を深める。TVや映画をただ観るだけでなく、自分で読み取る能力を身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSH0012	源流としてのシェイクスピア	全て	「文学」と聞いたとたんに顔をそむける人や、「文学」なんて退屈で小難しいものだと決めつけてしまい毛嫌いな人がいるが、そういう人にこそこの講義は履修してもらいたい。「文学」の楽しさを味わってもらえれば、と願っている。	「文学」に対する理解を深める。TVや映画をただ観るだけでなく、自分で読み取る能力を身につける。
21GBSH0013	日本史の中の女性たち	全て	日本の歴史上、各時代において女性が果たしてきた役割と機能について考察することで、現代社会における生き方について考える素材とする。	日本の歴史上、女性が果たしてきた役割と機能について理解し、女性として現代を生きるための指標を獲得する。
21GBSH0014	日本の画像文化論	全て	描かれた資料から、日本社会の歴史や生活、文化について、立体的に理解することを目標とする。	過去に描かれた画像メディアから、その目的や意図を読み取ることで、当該時代の歴史、生活、文化等について理解する。画像メディアを例として、資料、メディアから情報を収集するための考え方、技術を身につける。
21GBSH0015	日常生活からの哲学入門	全て	この科目では、西洋と日本の哲学者のさまざまな議論を紹介しながら、「見る」「触れる」「感じる」といった日常にありふれた経験を分析する。これらの経験について考えた哲学者たちの議論の仕方を学ぶことによって、哲学的な考え方・ものの見方を身につけることを目的とする。	西洋哲学の基本的な言葉遣いを学ぶことで、西洋文化の基礎にある考え方を理解する。言葉を用いて問題を発見し、整理し、論理的に考える力を身につける。一つの経験に対して複数の考え方がありうることを理解し、それぞれの考え方のねらいを踏まえて主体的に判断する力を身につける。
21GBSH0016	現代フランスの音楽事情	全て	フランスの音楽事情を通してフランスの側面を学ぶと同時に、音楽と社会について考察できる力を培う。フランスの例から日本の音楽事情にも考えを巡らせることや、さらには自らの専門領域に対する深い思考力を身につける。「芸術の都パリ」と言われるが、その表面的な煌びやかさだけでなくそれを支える背景、また社会における芸術の位置づけまで想像できるようにする。	フランスにおける音楽活動や文化政策の一端を知ることで、異文化理解につなげる。フランスは、芸術文化や料理、菓子、ファッションなどの分野で世界から注目されているが、その背景について深く知り、自らの学習に役立てられるようにする。授業で学んだ内容をもとに専門領域におけるフランスの事例を調べたり、日常生活でもフランスに関連する内容をより深く理解できるようにする。芸術に対する公的支援についても、公的に関与することに対して根拠に基づいて多面的に捉えられるようにする。
21GBSH0017	ミュージカル歌唱法	全て	音楽によって感受性を豊かにし、表現することで積極性を養う。	歌を通じて客観的に自分を理解し、それを表現し伝えることを体感する。
21GBSH0018	合唱表現Ⅰ	全て	社会生活に必要な、人の話を聞き、それが理解でき、自分を表現することができ、そして協調できることを目的とする。合唱に於いて、他声部を聴き、皆と調和することに喜びを得、高い音楽性を目指した歌唱ができることを目的とする。	譜読みの能力を習得し、初見で歌うことができるようになること。また、他声部を聴きながら自分のパートを歌えるようになること。歌いながら曲を把握し、皆で音楽を創り上げることができること。毎回行う発声練習で、声を鍛え自分を表現できるテクニックを習得できること。
21GBSH0019	合唱表現Ⅱ	全て	社会生活に必要な、人の話を聞き、それが理解でき、自分を表現することができ、そして協調できることを目的とする。合唱に於いて、他声部を聴き、皆と調和することに喜びを得、高い音楽性を目指した歌唱ができることを目的とする。	譜読みの能力を習得し、初見で歌うことができるようになること。また、他声部を聴きながら自分のパートを歌えるようになること。歌いながら曲を把握し、皆で音楽を創り上げることができること。毎回行う発声練習で、声を鍛え自分を表現できるテクニックを習得すること。
21GBSH0020	音楽の科学	全て	音楽は今も昔も私たちの生活の一部であり、暮らしに彩りを添えてくれる。近年の研究において、音楽を聴く、歌う、演奏するといった活動を行っている時には、脳の様々な領域が働いていることがわかってきた。本講義では、音や音楽の科学的な側面と社会とのつながりに焦点を当て、音楽を享受する人間の本質の一端を明らかにすることを目的とする。	①音の3要素および音楽の3要素を説明することができる。 ②空気の振動である「音」が「音楽」になる過程を説明することができる。 ③一般の人と音楽家の脳活動の違いを説明することができる。 ④音楽を利用したセルフケアの方法を考え、生活の中で実践することができる。
21GBSH0021	フランスの音楽と芸術文化	全て	芸術的創造の拠点となる都市としてパリは人を惹きつけ続けている。音楽を中心とする西洋の芸術文化を社会との関わりという視点を交えて体系的に学ぶことで、芸術文化について考察する力を培う。フランスの例から日本の芸術創造環境にも考えを巡らせ、さらには自らの専門領域に対する洞察力を身につける。	パリを中心とするフランスにおける音楽活動や芸術文化政策を知ることで、幅広い視野で対象を捉えられるようにする。フランスは、芸術文化や料理、菓子、ファッションなどの分野で世界から注目されているが、その背景に存在する光と影の部分について多面的に捉えることができる。例えば、芸術作品のもつ訴求力を考えるにあたり、革命につながる啓蒙思想など社会の動きと音楽作品の関連や権威を示す手段としての芸術など、社会における芸術の位置づけについて論述できる。
21GBSH0022	先端芸術表現	全て	膨大な情報そしてモノが溢れる現代社会において、芸術表現の手段となり得るメディアは多岐にわたる。先端芸術の「今」を理解し自ら表現することを通して、芸術表現の可能性に挑む。	まずは昭和末期から平成の今現在に至る国内外のアート・シーンの概況を捉える。そしてそこに現れた数多の技法や思考法のいくつかを理解し、自らの作品へと反映させる。コンセプチュアルな表現も多いことから、構想から制作そして作品化のプロセスを「ことば」として明確にする。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSH0023	自己発見アート	全て	アート表現を使ったセラピー的学習。ものを創造し、表現していく過程から、普段の生活では自覚しにくい潜在的な自己を発見する。自分自身をうまく表現する術、自発的にものを考える力、さらには、人とうまくコミュニケーションをとる手段などを身につける。	自分自身をうまく表現する術、自発的にものを考える力、さらには、人とうまくコミュニケーションをとる手段などを身につける。
21GBSH0024	未来造形	全て	未来について考え、そのイメージを作品として表現することで、現代を生きる自分自身が未来を構築していくための一員であることを自覚する。既成概念に捕われない発想力や想像力の育成と、基本的な表現技術の習得。	物をつくる過程を通し、創造する喜びを知る。また、他の人の作品を通し未来の多様性を感じる。
21GBSH0025	書の世界	全て	書の表現や創作の楽しさを体得し、知識と教養を深めることができる。	書の文化を理解し、表現や技法を学ぶ。 日常生活の中で多く活用されていることを知り、自己の生活の中で生かすことができるようになる。
21GBSH0026	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	全て	この科目は、和の文化 日本舞踊に触れながら、一人でできる着付け・人に着せる着付けを学ぶ。そして楽しみながら自然にマナーを学び、美しい身のこなしや人とのつき合い方を身につけることを主な目的としている。	“舞い”・“踊り”・“仕種” から構成される日本舞踊の作品に触れ、伝統芸術を理解し、国際化時代にふさわしい品格を忘れない魅力的な女性を目標とする。
21GBSH0027	歌舞伎鑑賞入門	全て	日本の伝統芸能の一つである歌舞伎について学び、その魅力に触れるとともに、そうした芸能を育んできた我が国の文化についても理解を深めることを目的とする。	歌舞伎についての基本的な知識を身につける。歌舞伎の面白さを理解する。江戸時代の文化についても理解を深める。
21GBSH0028	日本の文化 I	全て	Learning its own culture and sharing its knowledge with people who have different cultural backgrounds are meaningful approaches to understand the current global society. This course aims to learn important concepts of both traditional and modern Japanese culture. The student is expected to apply the knowledge to enhance their future personal and professional life.	At the end of this course, the students will be able to: -describe unique concepts of Japanese culture in English -relate the knowledge to real-life experiences. -express and share your own ideas and opinions with peers. -increase awareness of Japanese culture and how it functions in their daily lives. -conduct research of the interest. -create a short movie clip
21GBSH0029	日本の文化 II	全て	Learning its own culture and sharing its knowledge with people who have different cultural backgrounds are meaningful approaches to understand the current global society. This course aims to learn important concepts of both traditional and modern Japanese culture. The student is expected to apply the knowledge to enhance their future personal and professional life.	At the end of this course, the students will be able to: -describe unique concepts of Japanese culture in English -relate the knowledge to real-life experiences. -express and share your own ideas and opinions with peers. -increase awareness of Japanese culture and how it functions in their daily lives. -conduct research of the interest. -create a short movie clip
21GBSH0030	遊びの人類学	全て	本科目の目的は「遊びとは何か」、遊びを文化（約束事）の問題として考えることである。 遊びを文化として理解することの重要性は、遊び現象のなかに社会と文化が投影されていることを読み解いていくことにある。近年、遊びを「する」ことと同じく、遊びを「考える」ことが魅力的なものとなってきている。 遊びに凝縮・刻印されている文化と社会を、異文化理解と自文化理解の展望のもとに「調べ・考え・まとめ・実践する」ことを進めてゆく。	到達目標は二つある。 一つは、遊びのもつ多様性を授業によって理解した上で、学生自らが遊びとそれがおこなわれている社会との関連性について説明することができるようになることである。 そして、遊びの本質を理解することによって、人が人らしく生き、豊かさが実感できる社会を実現するために遊びを活用する方策を創造できる力を養うことにある。 本科目は、すぐに役立つようなチカラ、目に見える成果としての能力を身につけることを目標とはしていない。それでは「この科目は何の役に立つの？」と疑問を持たれる方がいるかも知れない。 アップルの創業者の一人であるスティーブ・ジョブズさんは「アップルというのはテクノロジーの会社ではなく、テクノロジーとリベラルアーツの交差点にある」と語っている。リベラルアーツとは簡単に言うと「役に立たない学問」である。まさに本科目があてはまるかも知れない。一見役に立たない学問が本当に新しいものを創ってきたと言える。 この科目は、一人一人の未来の可能性を広げるキッカケ、あるいは方向性を提供する。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSH0031	SNSから日本語を見る	全て	近年、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は、私たちの生活の中で大きなウエイトを占めるようになってきた。それは、SNSにかかわる行動だけではなく、人間のコミュニケーションにおいてももっとも重要で基本的な役割をもつといえる言葉にも影響を及ぼしている。本科目では、身近な存在であるSNSの言葉そのものに焦点を当て、表現や表記などの用いられ方に一定の法則があることなど、SNSの言葉の面白さと特徴を知ることが第一の目的とする。また、SNSで用いられる言葉の特徴やコミュニケーションのあり方について、その面白さをレポートとして記述できることを第二の目的とする。	SNSで用いられている日本語にはどのような特徴があるかを理解し、また、その特徴を知るための方法を認識している。
21GBSH0032	心理学入門	全て	本科目は心理学を初めて学ぶ人を対象として、心理学の基本的な考え方や方法論を理解することを目的としている。また、ここでは科学としての心理学を理解し、自己理解や身近な生活への活用について考える。	①授業で扱った心理学用語や現象について、教科書を見ながら説明できる。 ②授業で扱った内容を用いて、自分自身の生活や経験を分析し、他者に分かりやすく伝えることができる。
21GBSH0033	人間関係の心理学	全て	私たちは日々、誰かと関わって生活している。人間関係は大きなストレスにもなる反面、心に安らぎも与えてくれるものである。この科目では、人間関係について心理学的に理解することを目的としている。	①授業で扱った用語や実験内容について、教科書を見ながら説明できる。 ②授業で扱った内容を用いて、自分自身の生活や経験を分析し、他者に分かりやすく伝えることができる。 ③クラスメイトのレポートに対する自分の感想や意見を、適切な表現で伝えることができる。
21GBSH0034	心理学実践演習	全て	「心理学は占いのこと?」「心理学を学んだら人の心が読める?」など、心理学という言葉に漠然としたイメージを持つ人も多いと思われる。ここでは、心理学の研究を実際に体験しながら、科学としての心理学を理解することを目的としている。	①心理学研究法の基本を説明できる。 ②意欲・関心をもって、他者と協力しながらデータ収集に取り組むことができる。 ③図表などを用いて、得られたデータを適切にまとめることができる。 ④得られた結果を分かりやすく他者に説明できる。
21GBSH0035	生と死の心理学	全て	死は単に、病とともにある人や老年期の人、大切な人との死別を経験した人だけのものではなく、すべての人にとっていつか訪れ、必ず経験するライフイベントである。本科目では、生きる上で避けることが出来ない大きな課題である「死」について、「生きること」との対比を行うことで、より深く具体的に学ぶことを目的としている。	・生と死に関する心理学の基礎知識と概念を理解し、説明できる。 ・生と死の心理学における各課題について多様な視点から説明できる。 ・自らの生と死についての考え方がどのように形成されてきたかについて説明できる。
21GBSH0036	建築文化論	全て	建築のさまざまな技法、形式について、その文化的背景を認識し、建築の働きについて理解が深まる。	建築は風土、社会制度、あるいは時代精神などの文化的背景によって規定される一方で、建築の働きによって景観、生活様式などを形作っている。その相互作用の様相に関する幅広い知識を得ることで、建築について 1 学生は、風土を視野に入れた考察を発表することができる。 2 学生は、歴史を視野に入れた考察を発表することができる。 3 学生は、伝統を視野に入れた考察を発表することができる。

基礎教養科目群 社会科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSS0001	アウシュビッツ 戦争と女性	全て	<p>「戦争を知りたい」 こう考える学生は確実に増えている。2020年度は定員200人に600人前後の受講希望者があった。 2018年3月には研修ツアーを実施、18人の学生がポーランドのアウシュビッツを訪れ、その目でホロコーストの現場を確かめた。うち2人は、ワルシャワ大学に留学した。 なぜ行動力を伴う学びができるのか。これまで学んできた「戦争」は年表や地名・人名を記憶する「現代史」の一部であった。その時代を生きた人々の息遣いを感じる教育に巡り合っただけでなかった。たしかに戦争体験者は減っていく一方である。戦争遺跡も消えている。しかし、若者の関心は薄れるばかりだろうか。人間の歴史として位置付ければ、興味を抱くことができる。授業の焦点はここに置かれる。第二次世界大戦の最大の惨禍とされるアウシュビッツとヒロシマ、そしてわが国で唯一戦場となった沖繩。女性たちにも容赦なく悲劇は襲った。担当者は新聞記者としてその跡に立ち、膨大な証言と遺品に向き合ってきた。学生たちは初めて知る事実が多いだろう。登場するのはすべて、みなさんと年齢の変わらない女性ばかりだ。戦争遺跡の保存、証言者からの継承など、新しい試みを織り交ぜて展開される。「知りたい」気持ちが沸き起こる。</p>	<p>「目指すものは」 ・授業では音声を中心に各種の映像資料や文字資料などを通して、戦争に翻弄された個人、とりわけ女性の過酷な日々を知ることができる。「戦争」に対する表面的知識に留まらないレベルまで理解が深まる。 ・祖父母の戦争体験を聞くことや家族と語り合うことで、戦争が決して遠い世界のことではないことを実感し、自分にできることは何かを考え、「行動」にまで高められる。 ・「愚者は経験に学び賢者は歴史に学ぶ」とはどういうことかを自らの言葉で語るができる。 ・「無関心」「傍観」が何を生み出してきたか。その歴史を学び、今日的な課題にリンクさせることができる。</p>
21GBSS0002	現代世界の教育	全て	<p>現代世界の主な教育事情に注目し、それらにみられる特徴を明らかにし、世界の教育の動向を知ることによって、日本の教育の課題についてともに考えることを目的とする科目である。世界の主だった教育事情の概要およびそれとの関連で日本の教育の課題について受講生が理解し、説明できるようになることを到達目標とする。</p>	<p>①世界の教育についてつかんだイメージを、具体的に説明できる。 ②日本との違いについて、その背景を含めて理解したことを、説明できる。 ③他の受講生の意見を知ることによって、幅広い視野で物事を考えることができる。</p>
21GBSS0003	情報化と教育	全て	<p>情報化（科学技術の進展）が社会や学校教育に及ぼした影響や、情報の特性（意図の存在や情報の残存性・複製など）について理解を深めるとともに、情報社会に必要な知識や心構えを学ぶ。また、グループ討議や自主研究を行う中で多様な考えに接し、思考を深め、表現する力や協働的な課題解決の姿勢を養う。</p>	<p>(1) 教育の歴史や教育の新しい流れについて理解を深める。 (2) AIをはじめとしたイノベーションに伴う諸問題について理解を深める。 (3) 情報化（科学技術の進展）に伴う諸課題（AIとの共存、個人情報保護と情報公開など）について、自らの考えを明確にできる。</p>
21GBSS0004	差別と暴力のない世界をめざして	全て	<p>急激な変化を見せている現代社会において、未来世代の子どもたちと共に新しい人権・平和文化を育むことは、教養教育に課せられた大事な仕事である。そのために、人権・平和に関する諸問題について研究を行い、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間形成のあり方を探求する。</p>	<p>人権、平和に関する諸問題が生じる要因について、科学的に認識するとともに、その解決に向けて行為、行動できる市民的資質、力量の修得を目指す。また学習過程において、自ら問題意識を深め、課題を発見し、自主研究できる能力を身につける。</p>
21GBSS0005	メディアに映る女性	全て	<p>ソーシャルメディアをはじめとする様々なウェブメディアが生活の隅々まで行き渡り、長く暮らしに密着してきたテレビ、新聞、雑誌など既存のメディアと混在している。情報がすぐ得られる便利さの反面、フェイクニュースが氾濫し、私たちは「確かな情報源」を見失って逆に不安を募らせていないか。今こそ、情報の虚実を見分け、主体的に選ぶ力が必要だ。「女性活躍社会」等の耳ざわりの良いかけ声に惑わされず、女性に関する情報がメディアでどのように発信されているか、注意深く読み解く力が重要になる。 本科目では、様々なメディアが映し出す女性の今を「送り手」と「受け手」の両方の視点から探り、真実に迫るスキルと習慣を養うことを目的とする。</p>	<p>情報の真偽を見分ける選択眼、自ら真実に迫る調査力は、生きていく上で欠かせない力であり、身を守るうえでも役立つ。記者の取材ノウハウには、そのヒントが詰まっている。 学生は記者の目になって情報を探り、人から話を聞き、真実に迫るプロセスを体験する。そこで得た知見や自分の考えを文章にまとめる力を鍛える。「女性」に焦点を当てることで、性差に根差す価値判断に敏感になり、女子大学で学ぶことの意義を一人ひとりが主体的に考える契機になる。 この授業では、固定観念を排除して情報をクリティカルに読み解き、「考える力、書く力、伝える力」を鍛えて、発信する力につなげることが目標となる。</p>
21GBSS0006	カウンセリングの実際	全て	<p>さまざまな分野から必要性が求められている対人支援のカウンセリング、その実際を理解し、基礎力をつける。</p>	<p>1.対人支援において人を理解するとはどのようなことか、説明ができる。 2.心のバランスを崩した状態の説明ができる。 3.性格や心の葛藤について説明ができる。 4.支援するときの聴き手の基本的な態度を説明できる。 5.対人支援におけるものの見方について説明ができる。</p>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSS0007	カウンセリングスキル	全て	現在、関心を集めている心理カウンセリング、人を支援すること（ヒューマンサポート）を目的としたカウンセリングの具体的な技術（スキル）を学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1.人とかかわるときの言葉かけや質問の仕方が説明できる。 2.非言語コミュニケーションについて説明ができる。 3.人を支援するときのさまざまな価値観について説明ができる。 4.人や家族を支援するときの基礎的な面接技術について説明できる。 5.的確にさわやかに自己表現するとはなにか説明できる。
21GBSS0008	実践カウンセリング	全て	カウンセリングの基本的な考え方、方法から、生活や仕事に役立つ実践力を学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1.人を支援するときの原則が説明できる。 2.対人支援において人の話を聴くときの留意点が説明できる。 3.人を理解するとは何かの説明ができる。 4.家族評価について説明できる。 5.グループで協力して支援する意味を説明できる。
21GBSS0009	生きがい探しのボランティア論	全て	「生きがい探しのボランティア論」という科目は、全国で唯一開講されている科目です。 生きがいは、本来自分自身で見つけるものです。他人に強制されるものではありません。人生の入り口にいる若い皆さんが、悩んでいることも事実です。ボランティアという行為を通じて、少しでも自分自身の良さに気づき、他者への温かい眼差しが持て、また自分自身で考え行動でき、そして優しさの中に強さを持った人になれることを望んでいます。	<p>1995年1月17日早朝に起きた阪神・淡路大震災。その救援活動に、全国から多くのボランティアが馳せ参じました。これをもって、ボランティア元年と称しました。これ以降、ボランティアという言葉が、一般的になりました。しかし、改めてボランティアの意義や歴史を学ぶことで自分の生きる座標軸を見つけることを目標とします。また、実際に大学や地域の各種のボランティア活動を紹介しますので、自主的に参加できるような意識をもつようにします。</p> <p>授業後にレポートを提出します。自分で考え、パソコンに向かい、再度考察して仕上げて行く過程で自己を見直し、変容されることを目指します。レポート提出のもう一つの目的は、就職活動の小論文対策です。最初200字程度しか書けなかった人が、最後には700文字以上もかけるようになります。</p> <p>努力の賜物です。</p> <p>一女性としてだけでなく、一個人として自立・自律できる人を授業を通して学んでください。</p>
21GBSS0010	生涯福祉論	全て	学生が、福祉における「ゆりかごから墓場まで」の生涯を通して日常生活で「快い生活とは何か」というサブテーマを考えながら授業内容に関係する基本の福祉制度を知ることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が、学習した制度が自分の身近な生活の中に関わっていることに気付くことができ、福祉が自分の生活に密接していると理解することができる。 2. 学生が授業を通して、福祉の領域での「快い生活とは何か」について、そして快い生活を目指して「自分はどう生きるか」について考え、述べることができる 3. 学生が、提示された新聞スクラップ記事の内容に疑問を持ち、その疑問を調べ、考え、述べることができる。 4. 学生が、学部を超えて他の一部の受講生の課題からさらに学びを深め、自分の考えを深めることができる。
21GBSS0011	社会福祉とボランティア	全て	学生が、福祉における医療、高齢者の介護、障がい者、そして貧困の領域で、「よりよい生活の確立」と、そのためのボランティアについて考える。サブテーマである「生きる力」について各領域で考え、ボランティアが「生きる力」にどのように繋がるのか具体的に考えることを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学生が、授業で学ぶ領域の基礎的な知識と制度を学び、制度の限界（法の隙間）の中でボランティアの必要性を考えることができる。 (2) ボランティア経験が「ある」と「ない」学生が、ボランティア紹介によって相互に作用し、さらに自分のボランティアの価値観について考えることができる。 (3) 学生が、福祉の領域で「生きる力」とは、そして自分自身の「生きる力」についてを考える。それが生活する上で大切なことであることを認識することができる。
21GBSS0012	福祉レクリエーションの実際	全て	福祉レクリエーションとは、高齢者や障がい者に多く見られる生活支援を必要としている人々に対して、身体的・精神的な健康を意図して行われるレクリエーションの一分野である。ともすれば、専門職に就く人間にのみ必要と特別扱いされ敬遠されがちな分野であるが、コミュニケーションやレクリエーションの方法を実際に体験しそのスキルを身につけるとともに、学生自身がおかれている家庭環境や社会環境を通じて、そのスキルや考えがこの社会で生活するすべての人間が必要なことでありと理解することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の福祉的な環境について認識する。 ・レクリエーションの意義を実技を通じて体感する。 ・身近な福祉の環境を想定しながらレクリエーションやコミュニケーションを計画する。 ・身近な福祉の環境にレクリエーションを実施する。
21GBSS0013	子育てと家族関係	全て	家族の中には、夫婦、親子、兄弟姉妹などといったさまざまな関係が存在している。将来、親として子どもに接する自分像、あるいは家族像を構築するために、青年期から成人期における女性の発達をこれらの家族関係とのかかわりで見とらえることにより、現在の家族の一員としての自分を再確認することを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の意味と機能を説明することができる。 ・家族の中の人間関係について振り返り、各々の役割を整理することができる。 ・家族の中で自分の果たせる役割を見つけることができる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSS0014	「ふつう」を考える社会学	全て	私たちは、「ふつう」という言葉をよく使う。その「ふつう」とは、どこまでが「ふつう」で、どこからが「ふつうでない」のか？社会の中でその境界線がどのようにしてつくられるのかを考え、生活世界について多様な見方ができるようになることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を単体で見るとはならず、他の文化や社会と比較しながら相対的に説明できる。 ・情報を鵜呑みにするのではなく、その物事が置かれていた社会的状況において考察することができる。 ・物事を今という状況だけでなく、歴史的な脈のなかで意味づけることができる。 ・科学的知を、生きていく力に活かすことができる。
21GBSS0015	子育てと母性の気づき	全て	現代は、女性の社会進出によるライフスタイルの変化や、日常生活における乳児との接触機会の減少などの影響により、「産む」「育てる」ことが、個々の選択により委ねられる時代になったといえる。これをふまえた上で、出産というライフイベントに対する興味を喚起することを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達について説明することができる。 ・多くの人の持つ母性に対するイメージについて述べるができる。 ・子育て中の母親に対して配慮することができる。
21GBSS0016	環境心理学入門	全て	この授業では、学生が身の回りの環境と私たちの心の働きとがどのように関連するのかを学び、理解できるようになることを目的とする。	学生が、身の回りの環境と心の働きとの関連を理解し、環境的影響の観点から、私たちの日常的な行動について理解できるようになる。
21GBSS0017	現代社会と憲法	全て	日本国憲法の理念、体系について学ぶとともに、日本国憲法が具体的にいかなる形で日常生活に影響を与えているかを知ることによって、法的な思考プロセスの基礎を養うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法への関心および基礎的な理解を深める。 ・法的な思考プロセスへの親和性を高める。 ・日常生活における様々な事象について、法的な視点から考察するための基礎を身につける。
21GBSS0018	教養としての法律	全て	初めて法律を学ぶ学生に対して、法律とは何かを学んでもらうとともに、身近な事例を題材として、法律が生活とどのように関わっているのか、いろいろな角度から考えてみることを目的とする。	日常生活に関係する法律問題について興味関心を持ち、法律が身近に感じられる。
21GBSS0019	暮らしと法律	全て	初めて法律を学ぶ学生に対して、法律とは何かを学んでもらうとともに、身近な事例を題材として、法律が生活とどのように関わっているのか、いろいろな角度から考えてみることを目的とする。	日常生活に関係する法律問題について興味関心を持ち、法律が身近に感じられる。
21GBSS0020	女性と子どものヘルスケア	全て	この科目の女性のヘルスケアに関しては、思春期から老年期までの女性に特有な健康課題、および健康を増進し、疾病を予防するためのセルフケアについて学ぶ。さらに子どもの成長に伴う身体的特徴、病気や事故の予防のための手立てや対策、罹りやすい病気や症状に対するケア方法について学ぶことを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性に特有な健康課題を述べるができる。 2. 女性の健康増進と疾病予防のためにできるセルフケアを説明できる。 3. 自らの健康や、女性の健康に関する社会問題への関心の高まりを示す。 4. 子どもがどのように成長し、どんな身体的特徴を持っているかを説明できる。 5. 子どもが罹りやすい病気や起こりやすい症状に対する知識とケアの方法をあげることができる。 6. 病気や事故に対する予防方法について説明できる。 7. 子どもがもつ権利や最近の小児医療について理解し、課題に対する自らの考えを述べるができる。
21GBSS0021	外国から見た日本社会のしくみ	全て	This class will examine and interpret modern Japanese society and culture as seen in the popular drama "The Emperor's Chef".	This class will prepare students to better understand and discuss Japanese society and culture with persons living within Japan and foreigners living outside of Japan.
21GBSS0022	経営学入門	全て	我々の多くは、大学卒業後に企業（もしくは組織）で働くことになる。経営の分野においては20世紀初頭以降、様々な理論が生み出されてきた。本講義ではそうした理論である経営学の概要を、初学者向けに紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が存在することの意義と、そこで働くことの意義を確認できる。 ・企業経営に関する主な理論の流れを大まかに理解できる。
21GBSS0023	消費者生活論	全て	この科目は、学生が充実した消費生活を営むために、確かな目で商品・サービスを選択し、安全・安心な豊かな生活を手にすることができるようになることを主な目的としている。また、自身の消費行動が国内だけでなく世界の経済や環境に影響することについて学び、SDGsを達成するために消費者市民としての行動について考察することにより、卒業後の社会生活に活かせることを目的とする。	<p>学生が授業を通じて、SDGsを意識し、消費者市民として個々の特性を尊重し、社会・経済・環境など幅広い視点から消費生活について論理的に思考し、問題解決力を養うことを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題に関心をもち、日常生活の中でトラブルに巻き込まれないためにはどうすればよいか意欲的に学習し、行動することができる。 ・安全・安心な生活を送るための知識を習得し、他者に説明することができる。 ・情報感度を高め、正確な情報を入手し、消費者市民としての行動を3つ以上説明することができる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSS0024	日本経済のしくみ	全て	This class will help students understand the evolution of the Japanese economy and its place in the world through the popular drama “Hanzawa Naoki”.	This class will prepare students to better understand and explain the Japanese economy to persons within Japan and to foreigners living outside of Japan.
21GBSS0025	英語で学ぶやさしい経済学	全て	私たちの日常生活は経済と密接に関連しており、その身近な経済活動がグローバル社会の動向に大きく影響している。経済はビジネス・政治も大きく関わっており、グローバルな視野を持ち社会の一線で活躍する社会人には不可欠な知識である。この科目では、経済学の基礎知識を日本語と英語を学び、将来のキャリアに活かせる教養を身につけることを目的とする。	-基礎的な経済学のコンセプトを説明することができる。 -英語経済用語を理解し、英語経済ニュースの内容を理解できる。 -経済活動や時事ニュースを専門的かつ論理的な思考で分析できる。 -グループワークを通じて、お互いの意見について議論し、そこから1つの結論を出すプロセスを身につける。
21GBSS0026	英語で学ぶお金の知識	全て	お金は我々の日常生活に深く関与しており、一生続いていく個人的な経済活動である。それ故にお金に関しての正しい知識を持ち、賢く管理することは、人生設計にも大きな影響を与える。この科目では、大学生活や将来のライフイベント、(就職、結婚、育児、老後)などに備えて、必要なお金の知識を日本語と英語で学び、自分の生き方にあったお金の活用方法を身につけ、合理的なライフプランを設計できる、ファイナンシャル・リテラシーを身につけることを目的とする。	-基礎的なパーソナルファイナンスのコンセプトを説明することができる。 -英語金融用語を理解し、英語金融ニュースの内容を理解できる。 -日本と海外のパーソナルファイナンス事情を比較することができる。 -経済活動や時事ニュースを専門的かつ論理的な思考で分析できる。 -グループワークを通じて、お互いの意見について議論し、そこから1つの結論を出すプロセスを身につける。
21GBSS0027	我々の暮らしと日本の産業	全て	我々の生活は、様々な産業が提供するモノやサービスによって成り立っている。本講義では、産業とは何かを経済との関係でとらえた上で、日本の産業の移り変わりについて学ぶ。また、産業に対して政策が果たした役割について考え、日本の産業が抱える問題や課題を浮き彫りにする。さらに日本の第二次産業および第三次産業のなかから特徴的な業種をとりあげ、その歴史、特徴、課題等を学ぶとともに、今後の産業の姿を展望する。	・日本の産業構造の変遷を学び、日本の産業の実態と課題について基礎的な知識を踏まえて説明できる。 ・主要産業の歴史や特徴・課題について、分析・評価できる。 ・学んだ内容を、就職活動や社会人として行う業界研究に応用することができる。
21GBSS0028	メディア技術と文字デザイン	全て	誰もが情報発信者となりうる高度情報化社会において、わかりやすく情報を発信していくための知識や技術は、あらゆる人にとって必要なことである。 本科目では、メディアテクノロジーと文字(書体/タイプデザイン)の歴史を紐解きつつ、メディアテクノロジーの進化が、人々の知覚にどのように関与してきたか考察する。それらを通して、人々の「みる」行為を意識するとともに、自身の情報発信のあり方(デザイン)を見直し、よりよい発信のための思考を身につけることが、本科目の目的である。	1: デザイン表現に関する基礎知識や思考法を説明できる。 2: 研究発表(スライド、ポスター)やビジネスシーンにおいて必要とされる、適切な情報表現法を実践できる。 3: メディアテクノロジー史を通じて、表現メディアと社会との関係性を説明できる。 4: 「よむ」ための文字だけでなく「みる」ための文字に対する審美眼を養い、自身の情報表現に活用できる。
21GBSS0029	甲子園と阪神電鉄	全て	鉄道の地域にはたす役割や歴史を学び、日本の近代史を鉄道の視座から具体的事例を通して学習すること。	(1) 鉄道の関係を通して、その役割と科学技術の進展の歴史を理解する。 (2) 鉄道が地域の活性化にはたす役割を理解する。 (3) 鉄道の発達史を通して、日本の近代史を理解する。
21GBSS0030	建築と人間行動	全て	学生たちが生活および学習する空間としての建築の初歩を学習し、そこで見られる人間の行動と建築空間の関係を理解し、さまざまな建築空間において、日常および非常時の行動に応用できる初歩的な能力を身につける。	(1) 学生は、日本および欧米の各種の建築空間の事例を通して、そこで見られる生活、学習、仕事、通学、災害時の避難、などの行動と建築空間との関係を説明することができる。 (2) 学習した知識を、日常生活や研究活動、および火災や地震のような災害などに会った場合の避難行動に活かせる応用力の成果を発表することができる。
21GBSS0031	まちづくりと地方自治の役割	全て	地方公共団体(都道府県・市町村)は、私たちの暮らしに密接に関わる、多くの行政サービスを提供しており、住民生活において、多種多様な役割を果たしている。本授業では、地方自治制度の概要と住民の暮らしやまちづくりのための取組みを知り、行政施策の課題と解決策を考察する。	・学生は、地方自治に関する制度の概要を説明できる。 ・学生は、住民の暮らしやまちづくりのために、地方自治体が行っている役割や取組みを説明できる。 ・学生は、行政施策の問題点や課題を発見し、その解決策について自らの考えを示すことができる。

基礎教養科目群 自然科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSN0001	エコロジーと私たちの暮らし	全て	21世紀最大の課題は地球温暖化問題を筆頭とする地球環境問題の解決である。地球環境問題の実態を知り、その解決法を探る。	地球環境問題の実態と解決方法をプレゼンできる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSN0002	科学から考える生活の材料	全て	現代生活は便利なモノに溢れている。モノのおかげで私達の生活は快適になったが、一方でモノはブラックボックス化し、人々は溢れる情報に流されやすくなっている。また、環境や健康に関する新たな問題も引き起こされている。材料に対する科学的知識が欠如した製品作りや消費行動は、それら負の側面を増大することに繋がる。本授業では、ファッションを題材としてモノの科学的な見方や捉え方を学ぶ。現代生活の身の回りのモノを構成する物質を科学の眼で捉える能力を養うことで、衣生活のみならず、生活全体の質の向上や環境保全への貢献に繋がるだろう。	レベル1.ファッションを中心に、身の回りのモノを構成する物質の種類や背景、歴史を知る。 レベル2.ファッションで活躍する物質の性質を正しく理解する。 レベル3.科学的視点によって、ファッションの消費行動の改善や適切な製品開発の提案が行える。
21GBSN0003	数的能力の発達過程	全て	数学は人間の生活を豊かなものにし、遠い未来を見据えた大きな課題から身近な課題まで多くの問題の解決に寄与してきた。しかしながら算数・数学でつまづいて苦手になった人は多い。数や数学の発生過程から現代社会における数学的考察の大切さを考えることで、算数・数学の面白さ、有用性を実感することを学び、その過程を通して、主体性に課題を解決するための数学的アプローチを身に付け、論理的に物事を考察する能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・数の発達についての歴史を理解する。 ・日常生活の中における数的能力の重要性を理解する。 ・数学的思考による問題解決を図ろうとする態度を持つ。 ・数的能力を向上させる段階を理解する。
21GBSN0004	数や図形の科学	全て	「数学なんて何の役に立つのか」と思っている人が多いかも知れない。しかし、私たちの生活の中には数字があふれているだけでなく、自然界には美しい数学的な秩序がいっぱい潜んでいる。本講義では、中学校や高等学校の教科書に掲載されている数学の歴史や文化に関する話題や、日常生活や自然界にある数や図形の美しさ・不思議さを知ることができる話題を取り上げ、算数・数学の面白さ、日常生活との結びつきなどを発見し、探究的な態度や論理的思考力を修得することを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> (1) 日常生活や自然界にある数や図形の美しさ、不思議さに気づく。 (2) 様々な場面で数学が活用されていることを知り、自然科学に対する興味関心を高める。 (3) 柔軟な思考力、数学的表現力を養う。
21GBSN0005	文化を創造する数学	全て	文化を創造してきた数学の世界を知的探究することを通して、社会人としての基礎的教養を伸長することを目的とする。具体的には江戸時代の日本の数学「和算」から今日的な数学の話題まで、数学のよさを見出したり、解法を説明したりする数学的活動を通して、大学入学までに学習してきた数学の意味や意義を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化を創造してきた数学の文化的価値・陶冶的価値について説明できる。 ・数学の基本的問題を解決することができる。
21GBSN0006	生命科学入門	全て	「生物」「いきもの」に関わるテーマについて、自分の身の回りの事柄を科学的に考察し、知っている事実からその現象を連想し理解することで、「生物学」「生命科学」に対する探求心を養うことを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生命科学を体系的に把握するために、大きな視点と小さな視点の両方から「生命」について理解できる。最新の細胞・分子生物学では非常に小さな事象を扱うため、できるだけ大きな視点から始めて、自分自身のこととして捉えられるように学習する。 2) 身の回りに起こっている生命に関わる様々な事象を、科学的に理解できる。
21GBSN0007	身近な動植物の起源と歴史	全て	私たちの衣食住のいずれでも、動植物に由来するものが多い。それらの多くは、人類が自らの生活に役立つように、品種改良したものだ。これまでの人類の英知の結晶であると言っても過言ではない。一方で、それらの動植物の利用法は、生活様式の異なる国ごとに大きく異なる。その起源をたどりその歴史を学ぶことは、知識量が増えるだけでなく、将来の日常生活をより豊かに楽しいものにするだろう。	衣食住の生活にかかわる動植物を通して、まず人類の歴史を学習する。現代人の常識は100年前の人々の常識ではない。さらに、世界の交流の歴史や世界における日本の独自性を認識する。日本人の常識は世界の常識ではない。外国人の眼で日本の衣食住を見直したい。国際人としての教養と感性を身につけるのが授業の目標である。
21GBSN0008	生命の恒常性と情報伝達	全て	生命体が自己保全のために、如何に恒常性を維持しているか、そのための制御機構がどのようにになっているのか、情報伝達機構を中心に理解を深める科目である。特に理系の学生にとって備えておくことが望ましい教養を各分野の最先端で研究されている先生方にお話しいただくので、生命体において生命を維持し、身体を如何に形成するかについて、必要な知識やそれを支えるための基礎研究がどのように行われているかについて知り、教養として身につけることを目的とする。	生命維持のための恒常性を維持するための機構として、情報伝達機構がどのように作用しているのか、現代の治療の現場において生命科学的知識や手法をどのように駆使しているかを認識し、生命の維持と恒常性の関係、恒常性を維持するための情報伝達機構の存在を認識することを目標とする。
21GBSN0009	環境問題の歴史	全て	21世紀の最大の課題は環境問題の解決である。21世紀に生きる皆さんに必要なものは、環境破壊や環境問題に関する知識と環境影響に対する秀でた感受性である。本講義では、古代ギリシャから現在までの環境問題の歴史を学びその教訓をいかに生かしていけばよいかを考える。	過去の環境問題がいかに生じてきたか、またどのように解決されてきたかをプレゼンできるレベルを目指す。
21GBSN0010	科学技術の歩み	全て	明治期の主要産業は絹製品、綿製品であり、さらに大正・昭和期にはレーヨン・スフという再生繊維に進歩し、太平洋戦争後には合成繊維が登場する。本講義では繊維を切口に明治期以降の科学技術の進歩の歴史と経済の歴史を俯瞰する。	日本の繊維産業の興亡を通して、日本の科学技術の進歩の歴史をプレゼンできる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSN0011	生命科学の基礎	全て	21世紀は生命科学の時代といわれている。本講義は皆さんが興味を持っている血液型と性格の関係・恋愛と血液型の関係、さらに借り卵子や代理母などの生命倫理、またDNAの本質を社会的な視点を保ちつつ理解することを目指す。	DNAの働き、借り卵子、代理母などの実態をプレゼンできる。
21GBSN0012	科学への入門	全て	最先端の研究成果を取り入れつつ小・中・高等学校で学んだ理科から発展させ、物理、化学、生物、地学の基本的な知識や科学的なものの見方、考え方について深め、全ての人々が理解する必要のある一般教養としての科学を身につける。	(1) いくつかの日常生活で見られる自然現象をとりあげ、小・中・高等学校で学んだ理科の知識や考え方をふまえて解き明かすと共に、最先端の自然科学研究の成果をふまえて、自然事象の理解の仕方を身につける。 (2) いくつかのトピックをとりあげ、科学の歴史や社会と科学の関わりなどの面から考察し、科学を人間の営みとして捉え直す。
21GBSN0013	生活の中の物理学	全て	身の回りで見られる題材から、日常生活の素養となる物理学を習得する。論理的／数理科学的な考え方で自然を眺めたり、応用する力を養う。物理に限らず、科学的なりテラシー能力を得られるよう広い話題から講義を進める。	ものごとのしくみ・背景にある自然法則の理解を通じて、普段の生活をより一層味わい深いものにする。また、数量的な見積りや論理的思考を日常的に行う習慣を身につけ、擬似科学に騙されないような感覚を取得する。法則やその背景を理解し、論理的な説明ができること・科学的な常識を持てることを目標とする。
21GBSN0014	最先端物理学が描く宇宙	全て	物理学の歴史的な進展も交え、我々が現在までに得ている「宇宙」の観測的描像と理論的描像を紹介する。論争によって発展をつづけた科学的世界観や、宇宙物理学の諸問題を理解する。現代物理学の2つの柱である相対性理論・量子論を紹介し、宇宙が膨張していること・ブラックホールが存在していることはどうやってわかったのか、素粒子の確率解釈が必要となった理由は何かなど、物理学の根源的な問題を（数式ではなく）論理的な展開を軸に解説する。自然界を解明していくサイエンスに触れ、教養を得るだけではなく、広くて柔軟な思考を身につけて欲しい。	宇宙物理学をキーワードに、物理に対する考え方や取り組みを理解する。現代物理学が描き出す、非日常的な不思議で壮大な結論を理解する。教科書にないような最先端の事例を調べ、科学的・論理的な説明ができる能力を養う。
21GBSN0015	微生物がつくる発酵食品の不思議	全て	私たちの生活の中で当たり前になっている食品が、どのようにして作られているのかについては、あまり知られていない。そこで、“食品がどのように作られているのか？”、“発酵食品とは何か？”、“微生物がどのように食品に関与しているのか？”など不思議な謎を解く講義を通して、食品をより理解することを科目目的とする。	様々な微生物の性質や発酵食品などの加工食品がどのように作られているのかを微生物学的に、科学的に、食品学的に、食品加工学的に理解し、食品へのイメージを高め、これからの食生活をより豊かにすることを到達目標とする。
21GBSN0016	科学から考える衣服と生活	全て	衣服といえば一般的にはファッションが想起され、デザインや流行といった文化的側面に目が行きがちであるが、物としての基本的価値、例えば身体を寒暑等から守ることで人類が地球全体に活動範囲を広げられたことなどを忘れてはいけない。衣服の科学的知識やその根底の考え方は衣生活において極めて重要で、大学等でも古くから系統的に研究され、教えられてきた。本講義では、衣服に関する科学的領域について、人体生理から素材、環境問題まで広くその科学的知識や考え方を教授するとともに、より良い衣生活について受講生と共に模索したい。科学と生活のかわりに気付くことで、科学を普段の生活に役立てられるようになるだろう。	まずは、受講生がより健康的で快適な衣生活を実践できるようになってほしい。また、家庭生活やアパレル系職業、幼・保から高校までの教職等、各自の活躍する場において周囲に正しい知識や情報を適切に伝えられ、グローバルな視点で社会全体がより良い衣生活に向かうことを期待したい。
21GBSN0017	健康を支える仕組み	全て	ヒトの生命の誕生から成長、加齢を通して「健康のための生命科学」を展望します。「いのち」はいつ始まり、いつ終わるのだろうか。また人間の尊厳とは何なのだろうか。現在、生命科学は驚くべき進歩をとげたが、あらためてこのような難問に直面している。先端医療の急速な発達に伴って、われわれは従来のやり方では十分に扱えない倫理的問題に直面している。本講義では、生物の持つ共通の原理・仕組み（生物の構造・機能・遺伝子、情報処理）を理解し、生物の有する機能を人類の健康や福祉に役立てることができるということを理解する。	健康に関する情報を発信するが、講義を聴いただけでは健康にはならない。ヒトの生命システムをよく理解し、学んだことを実践し、健康に努めることが目標である。
21GBSN0018	生活習慣と脳と心と身体の科学	全て	MUKOJO ACTION・VISION「一生を描ききる女性力を。」を具現化していくためには、まず、自分自身の「脳」と「こころ」と「身体」を健康に保つ必要があるが、その鍵は「睡眠」「運動」「食事」「ICTとの付き合い方」など基本的な生活習慣にあることが科学的にも明らかとなっている。本講義は、大学生活を始めるにあたり、さらに、将来、社会人として、母親として、また、保育士・教師、看護師・助産師・保健師、心理士など対人援助職に就くことを見据え、生活習慣を自分の意志と行動でコントロールするための科学的な知識を身につけ、実践していくきっかけとなること、将来、臨床現場で活かせる基盤を整備することを目的とする。	ヒトは昼行性の哺乳類の一種であること、その進化の過程で「脳」や「こころ」と呼ばれる高次脳機能を発達させてきたこと、そして、その「脳」や「こころ」、また、「身体」や「生命」は、「睡眠」「運動」「食事」「ICTとの付き合い方」など日々の基本的な生活習慣により、ある程度コントロールすることができること、さらに、発達は胎児期からすでに始まっているという視点とその重要性を踏まえ、 ・そのための知識を身につけることができる。 ・それらを整理し、他者に伝えることができる。 ・それに対する他者の考えを加えて、自分の考えを適切に修正できる。 ・自分自身の生活習慣を見直し、継続する意識付けができる

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSN0019	薬の歴史と未来	全て	人類の歴史において薬は常に身近にあり、薬の発展は人類の発展とともにあるといっても過言ではない。本科目では、近代から現代にわたる薬学の歴史を通じて、生命現象と薬のかかわり、社会と薬の関わりを理解し、医療における薬の在り方について考える。	薬について、薬の治療効果、機能や作用機序だけでなく、薬の創製や開発に関する出来事、時代背景や人物など薬について科学的かつ歴史的に調査研究を行い、今後の医療における薬の関わり方についてプレゼンテーションできる。
21GBSN0020	薬とからだ	全て	薬は生きていく上で、多くの人が使用するため、本講義では薬や身体に関する正しい知識を身につけ、医薬品を適切に使用することを目的とする。	様々な疾患に対する治療薬を紹介し、それぞれの特徴や注意点を習得することで、薬物治療に対する知識を深める。
21GBSN0021	健康生活とライフステージ	全て	乳児から高齢者にいたるまで、それぞれのライフステージ、性別などの違いにおいて、健康生活を保つために、特に知っておきたい基礎知識を身につける。また、健康生活を保つための社会の仕組みや法律の基礎についても理解する。これらにより、学生の皆さん、および大切な家族および隣人が健康生活を保つことができるよう行動、活動することを目的とする。	学生の皆さんのそれぞれの立場、卒業後の職種において、自分自身だけでなく、周囲の人達も含めて、種々のライフステージで健康生活を保つことができるよう行動、活動することを目標とする。
21GBSN0022	医薬品概論	全て	身近な疾患や治療薬、セルフメディケーション（自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること）に必要なとなる医薬品等について、生活のなかで役立つ知識を身につけることを目的とする。	安全かつ効果的に治療薬を使用するため、またセルフメディケーションの実践に必要な知識を習得し、概略を説明できる。

基礎教養科目群 国際理解科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSI0001	韓流ブーム	全て	韓国と日本というアジアの隣国相互理解について考えたい。義理や儀礼を守り、人情に篤い国民性の韓国と日本は、驚くほどに似たところと、意外なほどに異なるところがある。現代韓国の文化、社会、また民俗や風俗と広く歴史や古典まで含めて、学び、感じ取れる講義を構築したい。	本講義を通じて、韓国文化を正しく理解してより深い理解をきわめていくことは表面的「韓流ブーム」を越えて、自らをとらえなおして日本のより深い理解にもつながるものであろう。
21GBSI0002	韓国文化の理解	全て	最近、「韓流」ということばが日本社会において大衆文化のキーワードになっている。本講座では韓国の文化と社会について基礎的な知識をはじめ、多様な韓国文化に対する理解を含めることを目標とする。	隣りの国韓国を身近に感じ、その文化を理解し説明することができる。
21GBSI0003	World English I	全て	This course will allow students to explore the history and use of the English language in a global context.	Students will gain a broader understanding of the different varieties of the English language spoken throughout the world and be able to communicate better with speakers of various different English dialects.
21GBSI0004	World English II	全て	This course will allow students to explore the history and use of the English language in a global context.	Students will gain a broader understanding of the different varieties of the English language spoken throughout the world and be able to communicate better with speakers of various different English dialects.
21GBSI0005	中国文化論	全て	中国文化は古代から隣国日本に少なからず影響を与えてきた。中国は今後も日本の最も密接な関係を有する国である。この講義の目的は豊かな奥深い中国文化の基礎知識を概説することにある。	学生が受講を通じて中国文化のみならず、日本文化との関連についても興味を持ち、今後の生活と仕事に役に立つことを目標とする。
21GBSI0006	国際協力入門	全て	今日、グローバル化が益々進むなか、さまざまな問題も国境を越え多国に影響をおよぼし、それらの解決には国際協力が欠かせない。これは2020年より流行した感染症の広がり、ウイルスとの戦いを見れば明らかであろう。しかし、一口に国際協力と言っても、さまざまな方法で行われており、多くの人々、団体が関わっている。また、国際協力が行われている分野も、経済、社会、平和構築等と多岐にわたる。本講義においては、国際協力が何故必要なのか、また国際協力はどのように行われているかについての基本的な知識を提供することを目的としている。	①国際協力の方法について概略を理解している。 ②さまざまな国際問題に対して、どのような国際協力が必要なのか、どのような協力が行われているかについて自分の言葉で述べることができる。 ③日本がどのように国際協力に関与しているかの一端を理解している。 ④より深く国際協力について学ぼうとする場合、その学習計画を立てるうえで必要な知識を習得している。 ⑤将来、国際協力の分野で活躍したいと考える学生は、希望具体化のさらなる検討に欠かせない国際協力の基本的枠組みを理解している。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBSI0007	世界の中の日本人	全て	この科目は、普段あまり意識することのない文化が自己形成や心のしくみにどのような影響を与えているのか、また文化の中で生きる人間の生き方が、どのように文化や社会を維持・変革しているのかを分析・考察できるようになることを目的とする。	ひとの感じ方や考え方、行動は個人によって差があるのは当然であるが、文化によっても異なっている。文化とひとの心や行動との相互作用に関する理論や研究についての知識を得ることにより、文化と人間について分析・考察できるようになる。また、文化の中で生きている自分自身を見つめ直す機会を得る。
21GBSI0008	子どもと多文化社会	全て	国際化の進展とともに、日本に居住する外国人は年々増加しており、国籍も多様化している。定住外国人の増加に伴い、その家族である学齢期にある子どもも増加してきている。 この授業では、「外国にルーツのある子ども」に焦点を当て、まずは日本語の修得が十分でない小・中・高校生の実態を知る。そして、異なる言語・習慣・文化的背景を持つ人たちと、互いの違いを認め合いながらよりよい社会を築いていくにはどうすればよいのかについて、学生一人ひとりが主体的に考察することを目的とする。	この授業を通して獲得したい知識・スキル（技術・技能）・態度（姿勢）は次の3点である。 ①学生は、日本に居住する外国人が増加、多国籍化している歴史的、社会的背景について理解したことを記述できる。 ②学生は、学齢期にある「外国にルーツのある子ども」が日本の学校で学んでいる実態を知り、課題とその解決方法について、具体的に記述できる。 ③学生は、異なる言語・習慣・文化的背景を持つ人たちと、互いの違いを認め合い、身近なところから国際理解を進める（これを「内なる国際化」という）にはどうすればいいのかを考察し、自分自身の生き方に反映させることについて、具体的に記述できる。
21GBSI0009	わたしたちの大学と地域をまなぶ	全て	私たちの学校と、所在する地域の歴史、景観、文化などを実践的に学ぶことで、学生時代を過ごす地域、社会に生きる市民としての教養、理解を深める。 さまざまな記録や記憶、モノの存在によって、学校や地域の文化、歴史、生活が形成されていることを理解する。 学校や地域に対する誇りや求心力を高めると同時に、その内容を「語れる」ようにする。 「学院歴史ゾーン」形成に向けた基盤を作る。	記録や記憶、モノの存在によって学校や地域の特質や個性が形成されていることを理解する。 私たちが日常生活を送る武庫川女子大学（附属校園含む）について、深い知識と理解を得る。 「西宮」「鳴尾」地域に所在する私たち武庫川女子大学の学生が、地域住民の一員であること、学校の地域における存在意義と関係について理解する。 大学や地域に対する理解を深めて定着させるため、内容を問う「Mukojo検定」の問題を作成する。 「歴史ゾーン」の形成に向け、情報やルートなどを作成し、案内とプレゼンテーションを行う。

基礎教養科目群 現代トピック科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBST0001	モラルジレンマから考える私	全て	日常生活には様々なモラルジレンマがあり、これらは正解がはっきりしないことも多い。社会の中で生活するためには、自分の意見を明確にするとともに、他者との議論を通じて、自分の意見を見つめ直すことも必要となる。本授業ではこのジレンマ過程を実際に経験しながら、自分と異なる意見にも耳を傾ける態度を養い、自分自身について見つめ直すことを目的としている。	①信頼できるデータや文献を探ることができる。 ②自らの考えを論理的にまとめ、他者に伝えることができる。 ③クラスメイトのさまざまな意見や考えを認めたくえで、自らの考えを再構築できる。
21GBST0002	テレビ映像と現代社会	全て	テレビは、長い間情報伝達の中心的役割を果たしてきた。この授業では、テレビの歴史や今後のインターネット社会でテレビを含むメディア全体がどのように変化していくのかについて考える。さらにテレビ映像について、企画・撮影・編集など多方面から研究する。 インターネット社会での映像について私が最も大切に考えていることは、その映像が正しい情報を伝え、かつ表面的ではなく物事の本質を捉えているかという点だ。大災害時のネット映像は信頼できるのか？テレビニュースは本質を捉えた映像を放送しているか？様々な角度からメディアの映像を検証し映像の裏にある物事の本質について考える。 学生の皆さんが、この授業でより社会的な視野を広げ、正しい情報と物事の本質を見抜く力を身につけることが目標である。	テレビとインターネットが融合する大きな変化の中で、学生の皆さんがテレビの社会的役割や特性を知った上でネット社会に臨むことは、今後の人生にとって有益である。 ネット上の“情報の洪水”の中から必要な情報を取捨選択し、社会を見つめる視野が今以上に広がることを、そして将来メディアで仕事をしてみたいという学生が出てくれることをこの授業の到達目標と考えている。 具体的な到達目標は以下の通り。 ○わが国が今後の国民に対する情報伝達サービスをどのように考えているのか、メディア全体（テレビとインターネット）の現状と今後の動きを類別し、具体的に述べるができる。 ○過去65年間のテレビ映像が、国内外の歴史にどのような影響を及ぼしてきたかを具体的な事象と共に説明できる。 ○ニュースの重要性と「正確な情報」の大切さを具体例と共に認識し、また実際にニュース原稿を作成する。 ○ニュース・スポーツ・情報番組・ドキュメンタリーなどの映像コンテンツを視聴し、それらがどのようにして制作されているかを比較・分類できる。その上で、映像（動画）撮影、編集、照明の奥深さを評価できるようになる。 ○テレビからインターネットへと変化しても、人を傷つけないためには変化してはいけないものもある。表現方法や取材のやり方など、情報を送り出す側のノウハウを具体的に述べるができる。 ○物事の本質を見抜く楽しさ・面白さを習得できる。
21GBST0003	女性のためのマーケティング	全て	マーケティングとは顧客および市場の創造である。消費財（化粧品・食品・衣服等）の購入決定権の8割は女性が握るといわれ、女性がマーケティングの知識を習得し、消費財の企画・市場調査・広告宣伝・営業などマーケティングの現場で活躍することが期待されている。 本科目では、身近な事例にもとづいてマーケティングの基本を習得し、マーケティングへの理解と興味を深めて、将来的にマーケティングに関わる業務で活用できることを目的としている。	・マーケティングとは何かについて、自分の言葉でわかりやすく説明できる。 ・マーケティングの基本概念について、わかりやすく説明できる。 ・身近な商品・サービス事例をSTPにあてはめて、わかりやすく説明できる。 ・身近な商品・サービス事例をマーケティングミックス（4P）にあてはめて、わかりやすく説明できる。 ・マーケティングの応用理論についてキーワードと身近な商品・サービス事例を関係付けられる。 ・マーケティングの基本概念を使って、マーケティングプランを具体的に立案できる。
21GBST0004	大学生活入門	全て	一般に大学生は、活動・行動範囲も飛躍的に広がり、以前より自由な行動を認められるが、一方では自分を律することを求められ、大人としての責任・責務も発生する。この授業では、学生生活を有意義に、また安全かつ快適に過ごし、その後生涯にわたって、社会人として健全な社会生活を送るために、必ず知っておきたい基本的な知識を修得する。 <1年生対象>	大学生として、またその先の社会人への備えとして自分の健康と生命は自らが守るという自覚をもち、健全で安全な社会生活を送るための健康、食生活習慣、危機管理等に焦点をあて、基本的な考え方や知識を習得する。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GBST0005	命を守る生体の機構と科学	全て	一人の女性としてまた人間として生きていく上において、備えておくことが望ましい教養を各分野の最先端で研究されている先生方にお話しただくので、現代社会において生命を維持し、さらにより快適な人生を送るために必要な知識やそれを支えるための基礎研究がどのように行われているかについて知り、教養として身につけ、自らの人生に応用することを目的とする。	命を守るために人類が本来備わっている生体防御機構とそれをどのように利用しているのか、現代の治療や移植医療の現場において生命科学的知識や手法をどのように駆使しているかを認識し、生命の神秘と命の大切さを認識することを目標とする。
21GBST0006	Current Affairs in Japan I	全て	The purpose of this class is to offer opportunities for Japanese students and students from abroad to jointly learn, think and discuss topics which are related to various current affairs and issues in Japan.	Upon completion of this course, both Japanese and international students will have a better understanding of Japanese culture, society, and economy through examination of Japanese current affairs and issues. Students will be able to discuss with confidence about how Japan appears from both outside and inside perspectives.
21GBST0007	Current Affairs in Japan II	全て	The purpose of this class is to offer opportunities for Japanese students and students from abroad to jointly learn, think and discuss topics which are related to various current affairs and issues in Japan.	Upon completion of this course, both Japanese and international students will have a better understanding of Japanese culture, society, and economy through examination of Japanese current affairs and issues. Students will be able to discuss with confidence about how Japan appears from both outside and inside perspectives.
21GBST0008	「記録すること」と現代社会	全て	最近、公文書の廃棄や記録の削除が行われていることが頻繁に報道されており、社会的な問題となっている。「記録すること」は人類の営みの痕跡・裏付けであり、「記録すること」によって、人類は知識や情報、技術や制度を「遺す」ことができ、進化を遂げることができた。この積み重ねが現在の私たちの社会を支える法やルールの裏付け（エビデンス）となっていることを想起すれば、「記録すること」への対応が、私たちの未来に大きな影響を与え、私たちの未来につながることを理解することが重要である。 本科目では、「記録すること」の意味や意義とともに、「記録すること」が未来への責任であることを理解することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「記録」、「記録すること」の歴史的段階や位置づけ、機能について理解する。 ・「記録」、「記録すること」の社会的、制度的運用状況を理解する。 ・公文書管理法などの法、アーカイブ、電子文書など、「記録すること」に関わるさまざまな制度、側面について学び、その内容を理解する。 ・「記録すること」にかかわるさまざまな事例について学び、「記録すること」に関する現代的課題を確認し、課題解決の方策を提示する。 ・「記録すること」の重要性を理解し、自らの生活、および将来に活かす考え方を体得する。

ジェンダー科目群

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GGEN0001	女性のための発達心理学	全て	目的の一つは、女性ならではの発達の特徴と課題を中心にしながら、人の生涯にわたる発達の過程を理解していくことである。目的の二つ目は、それらの理解をもとに、自分らしい発達を遂げていくことについて考察し、自分なりの人生を作り出していくことへの見通しをもつことである。	<ul style="list-style-type: none"> ・各発達時期の特徴と課題とを述べることができる。 ・性差について、論理的に思考し、不要な性差観を排除することができる。 ・自分なりの生き方について考え、意思を表明することができる。 ・成長し続ける女性としての自分を創りだすことへの意欲と態度を表現できる。
21GGEN0002	セクシュアリティ入門	全て	この科目の目的は、セクシュアリティという概念への着目を通して、性の多様性に関する知識と意識を高め、自分も含めた一人ひとりの違いを尊重できる感覚を培うことである。	<p>この科目の受講終了時には、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①セクシュアリティに関わる基本的な用語を説明できる。 ②セクシュアリティにまつわる歴史的な出来事を具体的に説明できる。 ③セクシュアル・マイノリティとマジョリティの両視点に立つことができる。 ④セクシュアリティと個人のライフイベントの関連について考察できる。 ⑤セクシュアリティに関する社会の動向について自分の考えを述べることができる。
21GGEN0003	女性と教育	全て	教育における自らの経験や現状をジェンダーの視点から分析・考察することによって、ジェンダーにとらわれないしつけや教育の可能性について考える力を養う。また、学校におけるアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）に基づく教育内容、慣習、言動などについて学び、その影響について知識を養う。さらには、将来起こり得る様々な出来事（就職、転職、進学、結婚、出産、育児等）について主体的に考え、行動できる力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中でジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちなさざまな事象を批判的に捉えられるようになる。 ・これまでの「とらわれ」から自由になる。 ・自分の言動が他者と異なっているにもかかわらず、それに戸惑うことなく、自信が持てる。同時に他者の言動を尊重できる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GGEN0004	ジェンダーとアイデンティティー	全て	「女」を取り巻く環境は時代とともに刻々と変化している。同時に「女」の生き方およびそれに伴って発生する問題も変化している。そうした様々な変化を認識する中で、これまでとらわれてきた自らの女性観や性別役割分業観を問い、自分らしい生き方について主体的に考える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中でジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。 これまでの「とらわれ」から自由になる。 自分の言動が他者と異なっても、それに戸惑うことなく、自信が持てる。同時に他者の言動を尊重できる。 さまざまなジェンダー問題に敏感になり、自らの考えを説明できる。
21GGEN0005	女性の身体とセクシュアリティ	全て	この科目は、ジェンダーの理論やセクシュアリティに関する事柄を理解し、自分の身体や性について考察できるようになることを目的としている。	ジェンダーの理論や社会問題、セクシュアリティに関する知識を身につけることで、自分自身の心の中にある固定観念や偏見に気付くことができる。また、女性が抱える問題や女性に多い障害についての正しい知識をもつことで、それらを予防・対処できる力を身につけることができる。
21GGEN0006	メディアに見るジェンダー	全て	この科目は、メディアの中にある具体的な事例を通して、ジェンダーの理論や問題を分析することにより、自分自身の中のジェンダー意識を再考できるようになることを目的とする。	ジェンダーの問題は、漫画や小説やエッセイ、映像などのメディアに顕著に表れていることが多い。メディアの中にあるジェンダーを分析することにより、また、メディアから受けている多大な影響に気付くことにより、「当然」と思っている価値観やイメージについて分析・考察できるようになる。さらに、ディスカッションなどを通し、多様な意見や価値観に触れることで、自身の考えを深めることができるようになることも目的の1つとする。
21GGEN0007	アジアのなかのジェンダー	全て	中国、インド、ベトナムなどアジア諸国の躍進がめざましい。同時に、これらの国々について理解することの重要性が増している。本授業では、これらの国々に関する基礎知識を得た後、教育、労働、結婚の現状および問題についてジェンダーの視点から考察する。	<ul style="list-style-type: none"> アジア諸国をはじめとする世界の国々の社会情勢に関心を持つようになる。特に様々な国々のジェンダーに関する諸事情に関心を持ち、それらの共通点や相違点を知る。 上記の知識をもとに、日本のジェンダーに関する諸事情について考察したり、将来のジェンダー動向を予測できたりするようになる。
21GGEN0008	ジェンダーと社会	全て	男女共同参画社会、女性活躍社会、国連の2030アジェンダやその中の持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals, SDGs）等の提唱により、国内外でジェンダー問題を解決しようという動きが見られ、女性やLGBTが活躍しやすい社会の構築を目指す動きが加速している。同時に、ICTや人工知能（AI）は、これまでの雇用のあり方を大きく変えつつある。このような社会において、そうした変化が自らの人生にどのような影響を及ぼし得るのか、どのようなライフプランを描けば良いのか等、将来について不安や恐れを感じている人は少なくないだろう。 本科目では、まず女性やLGBTに関わるさまざまな社会の動きについて、ジェンダーと格差という二つの視点から学ぶ。その上で、社会を生き抜く術として、ライフプランや金融リテラシーの重要性について学び、活用できる力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会とジェンダーに関わるキーワードを理解する。 社会問題をジェンダーと格差の視点から捉えて、自身の考えを明らかにできる。また、解決策を探ることができる。 ライフプラン、資格取得の便益とリスク、金融リテラシーについて学ぶことにより、生きる上でのさまざまなリスクを軽減する。
21GGEN0009	女性が輝く社会づくり	全て	本授業では、働く女性を守る法と権利の現状を理解したうえで、その生き方に自信と誇りを持って活躍できる社会への変化の意義と課題を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 学生は、女性活躍推進法の趣旨とその施策について基礎的なことを説明できる。 学生は、女性が活躍できる社会へ変わっていく意義と課題を説明できる。 学生は、女性が働きやすい職場の条件を理解し、進路選択に活かすことができる。

キャリアデザイン科目群

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GCRD0001	女性のためのライフプランニング	全て	現在、女性をとりまく環境は大きく変化している。このような時代に、自らの夢を実現するために、何を学び、いかに自らの能力を伸ばすのかを考える。また、キャリアについてどう戦略的に考え行動するか、女性としてどう生きるかを重要なポイントととらえ、有意義なライフプランを考える。	<ol style="list-style-type: none"> ライフプランの大切さを知る。 社会で活躍できる人材に成長するための大学生活の過ごし方を理解し実行する。 社会人として必要な社会人基礎力を理解する。 女性をとりまく背景、社会状況を理解する。 自らのキャリアプランとライフプランを形成する。 理想のライフプラン実現のための課題を見つけ、その課題を解決する能力を身につける。 自己表現ができるコミュニケーションスキルを身につける。 正しい日本語を使う能力を身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GCRD0002	キャリアと学び	全て	<p>いま、社会や企業が求める力は、主体性やコミュニケーション力やリーダーシップその他じつに多様であるが、そうした諸能力を育み、そのコアとなるのが思考力や継続的学習能力、すなわち「自ら学ぶ力」「生涯学び続ける力」である。</p> <p>大学を出れば勉強は必要ないと考える人は、充実した豊かな人生とキャリア発達を実現することはできない。これからの時代、とくに「人生100年時代」においては、キャリアは勤務先に管理されるものではなく、自分が管理することを求められるようになる。生涯にわたるキャリア形成に求められるのは、自らの人生と仕事について考えるキャリア意識と成長意欲、そして目の前の課題に真摯に取り組む姿勢と主体的に学ぶ力である。この生涯学び続ける力こそが、本学が創立80周年に掲げた「一生を描ききる女性力」(MUKOJO VISION)の核となる。</p> <p>本授業の目的は、受講生が仕事と学びに関する考察を深めながら、これからはどんな職業に就いても必須といえる、生涯を通じて学び続ける力を獲得することであり、さらに、自ら考え行動する主体性と社会的関心を身につけ、加えて学ぶ楽しさを感じることである。</p> <p>併せて「社会に貢献できる女性の育成」(武庫川学院教育目標)に資するために、受講生が「高い知性・善美な情操・高雅な徳性」(立学の精神)の涵養を意識し、「主体性・論理性・実行力」(武庫川女子大学教育推進宣言)を具えた「自立した学生」への成長を意識することを目指す。</p>	<p>この授業の到達目標は、受講生が次に述べるようなスキルとマインドを獲得すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分で考える力。 ②自分の言葉で話す。 ③自分で行動する力。 ④授業以外でも自分で考える、話す、行動することができる。 ⑤質問と失敗を恐れない。 ⑥継続的学習力および学習習慣の必要性への認識とともにその獲得。 ⑦授業外学習として、新聞を含む読書習慣の習得。 ⑧教養の必要性への理解と社会的関心。 ⑨目の前の課題への真摯な取り組みと自己肯定感。 ⑩武庫女の教育理念への共感。
21GCRD0003	卒業生が語る仕事と人生	全て	<p>学生にとって卒業後に始まる職業世界や社会人生活は未体験ゾーン。したがって不安と期待が錯綜するのは当然のこと。そんな学生たちにとって、社会人として活躍する卒業生に接することは大きな意味をもつ。夢と情熱と誇りをもって真摯に仕事に取り組む先輩の姿は、学生たちに尊敬や憧れの念を喚起し、自らの居場所に対する誇りを抱かせる。</p> <p>それだけにはとどまらない。先輩達からのメッセージに刺激や励ましを受けた学生たちは、自らの今の学生生活を見直し、学習意欲の向上や生活習慣の刷新、さらに自分に不足する能力開発へと、自分自身の成長と自立を強く意識し、そのための行動を起こし始める。その結果、学生たちは自分の可能性と自己効力感への気づきを得る。</p> <p>武庫川女子大学は、立学の精神において「高い知性・善美な情操・高雅な徳性」、加えて教育推進宣言で「自立した学生を社会に送り出す」と謳うが、本科目はその一助となることを目指す。</p>	<p>この授業において、受講生は次のようなスキルとマインドを涵養し習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ロールモデルの発見。 ②成長意欲と失敗の積極的受容とチャレンジ精神。 ③主体性と行動力。 ④努力的価値認識。 ⑤キャリア意識の醸成とポジティブ思考。 ⑥自分の居場所への誇りと自己肯定感。 ⑦武庫川女子大学の教育理念の理解。 ⑧将来の夢と目標の醸成。 ⑨学生生活の見直し。 ⑩学習意欲の増進。 ⑪社会的関心。 ⑫読書習慣(本と新聞)。
21GCRD0004	ヒューマンスキル入門	全て	<p>ヒューマンスキル(対人能力)を高めていくためには、自分自身を知ることが大切である。いろいろな自分と出会い、多くの発見を重ねながら、さらに魅力的な自分を創造していくことを目的にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との相互作用を通して、コミュニケーション・スキルが向上する。 ・それによって、他者との関わりに自信をもてるようになる。 ・決まりきった答えのない事柄に取り組んでいくので、考える力が高まる。 ・以上が基軸となるが、そのほかにも感情をコントロールする力、目標設定力、マナー等を身につけていくことができる。
21GCRD0005	パーソナルコミュニケーション	全て	<p>学生のカルチャーから社会人のカルチャーへソフト・ランディングしていくために、必要かつ重要な能力の1つが、コミュニケーション能力である。そして、コミュニケーションのあり方が、人間関係を左右する。豊かな対人関係を築いていくためのコミュニケーションのポイントを身につけることを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対面でのコミュニケーション力の向上を目指す。 ・人間関係やコミュニケーションの問題に正解や決まりきった答えはない。そのため、考える力も高めていくことができる。
21GCRD0006	自己アピールトレーニング	全て	<p>就職試験の面接で必要な知識や技能を身につけ、自分自身を最大にプレゼンテーションすることを目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強みを見つけ、表現できるようになる。 ・他の学生の強みや改善点を見つけ、それを上手く相手に伝えることができるようになる。 ・人前で自分の考えを自信を持って言えるようになる。 ・ニュースや新聞を通じて、社会に目を向けるようになる。 ・清潔感のある身だしなみを身につける。 ・社会人として必要なマナーを身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GCRD0007	仕事力を考える	全て	<p>社会人として仕事をする能力として、基礎学力およびそれぞれの職業に必要な専門的知識とスキルは当然である。しかしそれ以外に、多様な人々と協働するために、発信力と傾聴力を含むコミュニケーション力、自分で考える力、積極的な行動力、チャレンジ精神、仕事への熱意、リーダーシップ等々が挙げられるように、企業や社会が求める力はじつに多岐にわたる。</p> <p>それらの能力とその意味を考えるとともに、なぜ社会や企業等はそういう能力を必要とするのか、さらにそうした能力を育むには何をすればよいかについて考察する。それによって、企業や役所等が、筆記試験だけでなく、エントリーシート(ES)や面接を重視する理由もおのずと明らかとなる。</p> <p>この授業では、受講生が、そうした社会人として仕事をする際に求められる能力の必要性への気づきを得、それとともに、それらの仕事力の獲得に向けて行動を起こすことを目指すようになる。</p>	<p>この授業で、受講生は次のようなスキルとマインドを獲得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①社会から求められる仕事力の全体像と社会人基礎力への理解。 ②自分で考える力、自分の言葉で話す力、積極的な行動力。 ③公共圏における発信力と傾聴力を含むコミュニケーション力。 ④当事者意識を含むリーダーシップの涵養。 ⑤自立した個人同士の協働を可能にする協調性。 ⑥挑戦・失敗・成長への意欲喚起。 ⑦キャリア意識と目の前の課題に真摯に努力する姿勢。 ⑧目標設定力と目的意識の重要性理解。 ⑨消費者マインドから生産者マインドへの意識転換。 ⑩充実したキャリア形成のために必須の自己肯定感と生涯学び続ける力。 <p>到達すべき具体的な行動指標としては、一人行動、例えば、授業に一人で前方出席。グループディスカッション(GD)への積極的な参加。知らない人の前で自分の考えを話す。コミュニケーションへの入口としての笑顔と挨拶。ダメモト精神と失敗してもめげないチャレンジ精神。本と新聞を読むこと。</p>
21GCRD0008	チームで学ぶ課題解決	全て	<p>一般的に企業が採用で重視していること、そして、学生に足りないと感じていることは「主体性」と言われている。この授業では、やるべきことを設定し、プロセスを設計して目標を達成していく、一連の活動を体験的に学習する。そのことによって仕事をしていく上で求められる「主体性」を獲得していくことを目的にしている。</p>	<p>・経済産業省の提唱している「社会人基礎力」(職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力)をチーム活動を通して体得する</p> <p>・社会人として仕事をしていく上で求められる、課題解決に必要な論理的思考、協働力などの能力を身につける</p> <p>こうした能力を提携する企業から提供される課題解決にチームで取り組むことによって獲得していく。</p>
21GCRD0009	キャリアビジョンと人物評価	全て	<p>大学生として、就職活動を展開する際、単に自分の「経験」という直感的理解や勘を介在させて活動していくことは必ずしも望ましい成果をもたらさない。したがって、一般企業であれ、公務員の採用試験であれ、人物評価を客観的に理解しておくことが望まれる。そして、人物評価法の正しい認識と採用面接における評価軸を前提として、自らの「価値づけ」を行うことが不可欠となる。</p> <p>この授業では、採用面接を客観的、分析的に理解することで、戦略的な事前準備の方法論を紹介し、良い意味で「印象」を残すための志望動機と自己アピールの「考え方」と実践方法(フレームワークの利用)を様々な事例を通じて学んでいくことで、就職活動における学生の不安を軽減することをその目的とする。</p>	<p>面接対策は、他者の主観に左右される側面があることも事実ではあるが、人物評価法の「考え方」と「事前準備」によって、効果的な準備が可能となることはいうまでもない。この授業では各自が自分の強み(希少性)を生かした自己アピールができるようになることを目標とする。</p> <p>コロナ禍の影響により、就職活動がそのルールのみならず、手法等にも大きな変化がみられていることは事実である。しかしながら、優秀な学生を獲得したい企業側や行政側のスタンスには何ら変化はない。重要なことは、特別な経験を積むことではなく、学生各自に内在している潜在的な力を顕在化させることと考える。そのために「ないもの探し」から「あるもの探し」という発想の転換を促し、自分に合った職探しの契機をつくることを最大の目標とする。</p>
21GCRD0010	プレゼンテーションの基礎	全て	<p>プレゼンテーションは学生生活や卒業後の仕事において重要なスキルとなる。例えば、授業での口頭発表、ゼミの研究発表、留学その他の活動報告、就活での自己PR、社会人に求められる仕事上の企画や報告の発表など、自分の意見や主張を人前で発表する機会が多い。そのため、この科目では、学生がプレゼンテーションとは何かを理解し、限られた時間で伝えたいことを伝えたい相手に、最適な手段を用いて伝えることができ、論理的思考力と聴き手を納得させる能力を獲得することを目的とする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1)資料の活用法を身につけることができる。 (2)目的に応じて、効果的なプレゼンテーションのための企画書を作成することができる。 (3)聴き手を意識した独創性と説得力の有るプレゼンテーションが行える。 (4)文章や発表を通して、批評力を身につけることができる。
21GCRD0011	文章表現の基礎	全て	<p>文章表現力は学生生活や卒業後の仕事と人生において必須のスキルである。例えば、授業中のコメントシート、レポートや卒論の作成だけでなく、留学その他の志望理由書や就活のエントリーシート、社会人に求められる仕事上の企画書や報告書の作成、そして日常的にやりとりするメール文など、自分の考えを文章にまとめて表現する場面は多い。「伝える」と「伝わる」は違うが、自分の考えを読み手に分かるように書いたり話したりすることは、実際は非常に難しい。</p> <p>この科目では、論理的思考力とコミュニケーション力の基礎となる文章を読み解く力と自分の考えを言語化する力が身に付けられる。併せて自分を表現することを通して、自分の価値観を知り、学ぶ楽しさと自分の成長を実感することができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1)多様な文章を読解することができる。 (2)「情報収集→情報分析→課題発見→構想→表現」という問題解決のプロセスに即した文章作成の方法が身につけることができる。 (3)資料や情報をもとに、自分の主張を論理的に述べるレポート作成のスキルが身につけることができる。 (4)自己を「ふりかえる」力が身につけることができる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GCRD0012	企業の見方	全て	<p>社会における企業の役割や多様性ととも、その存在意義や様々な活動について考え、併せて、将来の進路選択や職業選択の際の参考材料を蓄える。また、様々な企業事例を見ながら、優良な企業や組織とはどのような条件を備えているかについて考察し、そのことによって、企業や業界を一般的なイメージとして捉えるだけではなく、個々の企業を具体的に観察する眼を養う。</p> <p>他方、学生自身の問題として、消費者としての目線から、生産者もしくはサービス提供者としての目線を獲得することを目指す。あるいは、これまで消費者であり学生として生きてきた者から生産者であり働く社会人となる者へのマインド転換を理解する。このマインド転換がなければ、十分な企業理解が得られないことから、学生側の意識変容も重視する。</p>	<p>この授業の受講生は次のような知識、スキル、マインドを獲得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①企業に関する様々な情報や知識。 ②BtoB企業および中小企業に対する理解。 ③個々の企業の具体的な見方。 ④自分から企業等を調べる態度。 ⑤就活と就業に対する前向きな姿勢。 ⑥主体的に就活を楽しむ逞しいマインド。 ⑦自分自身の将来における夢や目標の発見またはその重要性の理解。 ⑧目の前の課題に真摯に取り組む姿勢。 ⑨自立と社会的関心。 ⑩自分で考える力、自分の言葉で話す力、行動力。
21GCRD0013	企業での女性活躍と働き方改革	全て	<p>1億総活躍社会の実現に向け、企業での女性活躍が、今まで以上に求められており、企業での女性活躍と働き方改革の内容を理解する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 社会人として活躍する為に必要な企業に関する基礎知識を学ぶことにより自主的に企業研究ができる。 (2) 企業の中で女性活躍・働き易さ、働き方改革等の企業の動向を知り、将来の働き方を自分で決められる。 (3) 主体的なキャリアデザインを考える事ができる。
21GCRD0014	企業で役に立つ情報収集と企画力	全て	<p>企業でのマーケティング部門（企画部門）等で活躍する為にマーケティング力、新事業企画・新商品企画の流れを理解するとともにデータ分析力やプレゼンテーション力の基礎を身につける。</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 企業でのマーケティング活動、事業企画、新商品企画の進め方について講義およびグループワークを通じて具体的な企画ができる。 (2) 基本的なデータ分析の手法を理解し、活用できる。 (3) 効果的なプレゼンテーション資料の作成とプレゼンテーションができる。
21GCRD0015	グローバル化と企業の海外展開	全て	<p>業種や規模に関わらず、どのような企業でも、輸出入・海外販売・海外生産・インバウンド需要の対応等で海外との係わり合いは、今後益々拡大していく。そのような状況の中で、変化の激しい世界の経済動向・企業の動向などを理解しつつ、グローバル力を高めることによりキャリア形成・就職活動に役立たせる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) グローバル力（戦略的思考力&異文化の理解等）の内容を理解しグローバル力を強化する行動ができる。 (2) 企業の海外展開の新たな潮流および動向を学び、成功のポイントを理解し自主的に企業研究ができる。 (3) 学生の就職活動または就職後に必要な海外関連知識を学び、活用できる。
21GCRD0016	公務員の魅力	全て	<p>少子高齢化が進む中で国民の行政ニーズは多様化しており、公務員の仕事に対する期待はこれまで以上に高まっている。</p> <p>本授業では、行政組織（国家行政と地方行政）の仕組みと公務員制度の概要を理解したうえで、国民の奉仕者としての公務員の仕事の概要を説明し、履修生の進路選択の契機となる知識を学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生は、行政組織（国家行政と地方行政）の仕組みと公務員制度の概要を説明できる。 ・学生は、公務員の義務と制限を理解し、公務員に求められている社会的信頼と倫理観について説明できる。 ・学生は、公務員への進路選択の契機となるのに十分な、公務員の仕事の特性に關する知識を説明できる。

言語・情報科目群（言語リテラシー科目）

1. 英語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL0101	英語コミュニケーションⅠ	全て	<p>英語で話すことに慣れていない学生が、英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図る態度を身につけ、身近な話題について会話する基礎的な力を培うことを目的とする。本授業は外国人講師が担当し、授業はすべて英語で行う。</p>	<p>挨拶、自己紹介などを英語で行うことができる。</p> <p>身近な話題であれば、会話の内容を大枠で聞き取ることができる。</p> <p>基礎的なやさしい表現を用い、身近な話題について英語で話すことができる。</p>
21GLIL0201	英語コミュニケーションⅡ	全て	<p>英会話学習に関心があり、基礎的な英語力がある学生が、日常の身近な話題や、物事について、よりスムーズに会話の「キャッチボール」を楽しむ力を身につけることを目的とする。また、会話に必要な文法事項の復習や、語彙力の強化も同時に行う。本授業は外国人講師が担当し、授業はすべて英語で行う。</p>	<p>休日の過ごし方、買い物、旅行など、日常想定できる場面で、自分の意見を的確に伝えることができる。</p> <p>馴染みのない話題でも、質問を繰り返すなどして、大枠で理解できる。</p> <p>複文を用いることができる。</p>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL0301	英語コミュニケーションⅢ	全て	Everyday something new is being made, being discussed, being explored. In this pre-intermediate course, students can enjoy sharing together about society issues and expanding their knowledge about current issues in Japan and internationally. Students will practice their skills of critical thinking, listening, reading, writing and speaking as they express their opinions clearly in class and through homework.	Students can enjoy developing their English skills as they think and talk about current topics. The goal of this course is to increase the students' knowledge of English skills by expressing ideas and asking questions as they study various topics affecting Asian societies. Specifically, students will use their English skills of reading, writing and conversation as they increase their knowledge of English communication and international culture.
21GLIL0302	英語コミュニケーションⅣ	全て	This course is designed to develop students' overall communicative abilities through integrated practice of the 4 skills (listening, speaking, reading, and writing), and vocabulary. Students will be encouraged to develop critical thinking skills while discussing current issues happening both in Japan and internationally. The course also aims to develop an understanding of intermediate to advanced English structures, expressions, and vocabulary. An intermediate to advanced level of English comprehension is required to take this course.	This course has the following goals for students: 1. To gain and expand knowledge of both local and global issues. 2. To develop critical thinking skills. 3. To develop the ability to use a wide range of advanced English structures, expressions, and vocabulary.
21GLIL0102	英語リーディングⅠ	全て	初級レベルの学生がパラグラフの構造や読み方を知り、効率的、かつ確実に英文の内容を理解することができるようになることを目的とする。様々な英文を読み、文のパターンを理解し、英文の論理的な読み方を学ぶ。文法事項や表現を復習するとともに、語彙力も培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグラフの構造を理解できる。 ・文法知識を活かし、平易な英文を理解できる。 ・積極的に英文を読む態度を身につける。
21GLIL0103	英語リーディングⅠ	全て	初級レベルの学生がパラグラフの構造や読み方のコツを知り、効率的、かつ確実に英文の内容を理解できるようになることを目的とする。様々な英文を読み、文のパターンを理解し、英文の論理的な読み方を学ぶ。文法事項や表現を復習するとともに、語彙力も培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグラフの構造を理解できる。 ・文法知識を活かし、平易な英文を理解できる。 ・積極的に英文を読む態度を身につける。
21GLIL0202	英語リーディングⅡ	全て	様々な話題・形式の英文を読み、長文を理解するトレーニングを行う。パラグラフの要点を読み取る方法（スキミング）を学び、必要な情報を収集する力（スキミング）を身につける。専門分野の英語文献を理解するための素地を培うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて精読、速読など適切な読み方ができる。 ・まとまりのある英文を読んで、必要な情報を得ることができる。 ・読んだ英文の内容を聞き手にわかるように音読することができる。
21GLIL0104	英語ライティングⅠ	全て	メールやLINEメッセージなどの日常的なライティングをはじめ、ネット利用の際に発生する「書く」やりとりにも活用できる語彙やフレーズを、「英作文」の練習を繰り返すことで習得し、短いセンテンスを用い、自分の意見を伝えることができるライティングの基礎力を身につけることを目的とする。	「書く」ための文法力を習得し、英文ライティングに応用できる。日常のやりとりに役立つレベルの「語彙」が理解できる。学んだ定型文を用い自分の意見を「書いて」伝えることができる。
21GLIL0105	英語ライティングⅠ	全て	メールやLINEメッセージなどの日常的なライティングをはじめ、ネット利用の際に発生する「書く」やりとりにも活用できる語彙やフレーズを、「英作文」の練習を繰り返すことで習得し、短いセンテンスを用い、自分の意見を伝えることができるライティングの基礎力を身につけることを目的とする。	「書く」ための文法力を習得し、英文ライティングに応用できる。日常のやりとりに役立つレベルの「語彙」が理解できる。学んだ定型文を用い自分の意見を「書いて」伝えることができる。
21GLIL0203	英語ライティングⅡ	全て	エッセイやニュース記事など多種多様なジャンルの英文を読みながら、使用語彙・表現・パラグラフの成り立ちなどを学び、自分の意見・提案・説明など様々な状況に応じ、論理的な英文を書くために必要な文章構成力を身につけることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・音声言語・文字言語の違いを語彙レベルで確認し、より自然な英文を書く力を身につける。 ・論理的な文章構成力を身につける。 ・辞書やオンライン資料、参考文献等の有効的な使い方を覚える。 ・文章で用いるコンマ等、記号を正しく用いることができる。
21GLIL0106	T O E I C 演習Ⅰ	全て	ビジネス、学業を問わず、あらゆる場面で、英語力が必要とされる時代に、TOEICのスコアは実力を示す指標の一つとして幅広く利用されている。本授業は、TOEIC未受験者を含め、初級レベルの学生が、各設問形式に慣れることを目的とする。	TOEIC450点程度の能力を身につける。比較的短い英文であればまとまりで音を聞き取ることができる。平易な英文であれば日本語を介さず理解することができる。
21GLIL0204	T O E I C 演習Ⅱ	全て	ビジネス、学業を問わず、あらゆる場面で、英語力が必要とされる時代に、TOEICのスコアは実力を示す指標の一つとして幅広く利用されている。本授業は、基礎的な英語力があり、TOEICの試験形式にある程度慣れている学生が、多くの模擬問題にふれることで、さらなるスコアアップを目指すことを目的とする。	TOEIC600点程度の能力を身につける。文単位ではなく、パッセージ全体を通し、大枠の意味を聞き取ることができる。頻出語彙を習得することで効率的に英文を読み取ることができる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL0303	T O E I C 演習 III	全て	ビジネス、学業を問わず、あらゆる場面で、英語力が必要とされる時代に、TOEICのスコアは、実力を示す指標の一つとして幅広く利用されている。本授業では、上級レベルを目指す学生が、難易度が高い問題に数多く取り組むことにより、一層のスコアアップを図ることを目的とする。	TOEIC700点程度の能力を身につける。そのために必要なスキルとして、「英語を英語のまま理解する」力や大量の情報の中から必要な情報を素早く読み取るスキニング力などを身につける。
21GLIL0107	T O E F L 演習	全て	TOEFLは、非英語母語話者のアカデミックな英語運用力を測定するテストである。本授業では、大学・大学院留学を目指している、あるいは、よりアカデミックな内容の英語を学びたい学生が、TOEFLの問題形式に慣れ、目標点数取得に必要な語彙力・リスニング力・リーディング力を獲得することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミックな領域をカバーする語彙力を獲得する。 ・長文理解のために必要な文法知識を身につける。 ・制限時間内に問題を解くための適切な時間配分ができる。
21GLIL0108	T O E I C (初級)	全て	英語力を必要とする企業が増え、就職活動時に学生にスコアを求める企業も増加している。TOEICは、身近な事柄からビジネスに関連する事項まで、幅広いコミュニケーション能力を測る目的で作られているが、具体的なビジネスシーンなど学生には馴染みの薄い場面も多く含まれる。本授業では試験の形式に慣れ、英語力の向上と共に効率よくスコアアップをはかることを目的とする。	<p>TOEICスコア500点程度を目指す。</p> <p>リスニング到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音法（音声変化や音のしくみ）を理解する。 ・1度に数行単位の英文を聞き取り意味を把握する。 <p>リーディング到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の内容を理解するにあたり最も大切である名詞と動詞に加えて、詳細説明に使われる形容詞や副詞の理解も目指す。 ・TOEIC特有の場面設定に慣れ、語彙や表現を増やす。
21GLIL2501	Basics for Presentation I	全て	バランスのとれた高い英語力（話す・聞く・書く・読む）＋社会人基礎力を身につけることを目標に3年間にわたり学習を継続するチャレンジコースにおいて、プレゼンテーション能力は必須である。コース初年度にそのベースを築くために必要な項目をテーマ毎に学びながら、実際のスピーチを繰り返し行い「人前で話す」ことに慣れる訓練を行う。	TOEIC550-600点程度。 パフォーマンスの基礎（声量・目線・ジェスチャーなど）を実践できる。 英語で簡単な内容のスピーチを行うことができる。(3分程度)
21GLIL2502	Basics for Presentation II	全て	バランスのとれた高い英語力（話す・聞く・書く・読む）＋社会人基礎力を身につけることを目標に3年間にわたり学習を継続するチャレンジコースにおいて、コース初年度にそのベースを築くために必要な項目をテーマ毎に学びながら、実際のスピーチを繰り返し行い「人前で話す」ことに慣れる訓練を前期同様継続する。	TOEIC600-650点程度。 英語で即興スピーチを行うことができる。(3分程度) 聴衆の反応をコントロールできる。
21GLIL2503	Grammar for Communication	全て	英語の読解力、作文力、コミュニケーション能力向上に必要な不可欠な文法・構文の知識を修得する。	文法演習により文の構造への理解を深め、情報の意味や意図を正しく把握することができる。 また、TOEICの文法・語法問題のスコアアップを目指す。
21GLIL2504	Reading & Writing	全て	前期で学習した文法・構文の知識を、実際のリーディングやライティングに応用することを主な目的とする。	さまざまなトピックやスタイルのリーディング課題を通して、興味や背景知識の幅を広げ、情報量の多い英文を速く、正確に読むことができる。また、英文パラグラフ・ライティングの構成法を学習し、自分の考えを英語で表現することができる。

2. ドイツ語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL0109	ド イ ツ 語 I	全て	学生がドイツ語の骨組みを理解できるようになることを目的とする。テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全体をバランスよく学習する。また対話練習によってコミュニケーション能力を身につける。学生が、ドイツ語圏の文化的背景を具体的に理解できるよう視聴覚教材を使用する。文法面では、全体の見通し(テキスト最終項目まで)を第一とし、細部はIIにゆだねる。	学生がこの授業を通じて、ドイツ語テキストの理解やコミュニケーションの際に必要な知識を獲得するのが到達目標である。客観的な指標としては、ドイツ語検定試験5級に合格可能な能力を身につけることである。
21GLIL0110	ド イ ツ 語 I	全て	「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく組み合わせながらドイツ語の基礎を学ぶ。 読解力だけでなく、発話や会話練習の機会を増やすことを通して実践的なドイツ語力を身につけることを目指す。	ドイツへの旅行や留学などで出会うさまざまな基本表現を学び、ドイツ語検定5級に対応できるドイツ語力の習得を目標とする。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL0205	ドイツ語 II	全て	ドイツ語コミュニケーション能力の養成。 ドイツ語検定試験4級の合格を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・自身や家族について、買い物、仕事、身近なことなど、直接関係する範囲であれば、文章や簡単な表現を理解したり、意志疎通を図ることができる。 ・出身地、経歴、自分が住んでいる周辺のこと、自分の要望などを簡単な表現で伝えることができる。 ・ドイツ語検定合格に必要なリスニング能力を習得する。 ・ドイツに関する文章を読むことで、ドイツの文化や実情を知る。

3. フランス語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL0111	フランス語 I	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。またフランス語という言葉を学ぶ事を通して、フランスの文化や風土への理解・関心を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語5級レベルの簡単で実用的なフランス語を話す事ができる。
21GLIL0112	フランス語 I	全て	初めてフランス語に触れる学生が、フランス語の基本的な構造を理解することを目的とする。テキストをもとに、「読む・書く・聞く・話す」の4つの技能全般をバランスよく学習する。また、テキストとは別にフランスのさまざまな風俗、習慣、文化等の最新情報を映像で紹介していく。この授業を通して学生がさまざまな表情を持ったフランスを発見し、フランスへの関心がさらに増すことを期待している。細部についてはIIにゆだねる。	フランス語で簡単な挨拶、自己紹介ができる。 学生がフランス語検定5級を受験可能な文法力を身につける。
21GLIL0206	フランス語 II	全て	Iで修得したフランス語の基本の発展を目的とする。Iで説明しきれなかった文法知識を補うとともに、単語面でも充実をはかることを目的とする。テキストをもとに、「読む・書く・聞く・話す」の4つの技能全般をバランスよく学習する。また、テキストとは別にフランスのさまざまな風俗、習慣、文化等の最新情報を映像で紹介していく。この授業を通して学生がさまざまな表情を持ったフランスを発見し、フランスへの関心がさらに増すことを期待している。	学生がフランス語での挨拶、自己紹介だけでなく、簡単な会話ができるようになる。 次に、学生が絵本など簡単なものであれば原書で読めるようになる。 最終的に、学生がフランス語検定4級を受験可能な文法力を身につける。
21GLIL0113	フランス語 I A	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。またフランス語という言葉を学ぶ事を通して、フランスの文化や風土への理解・関心を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語5級レベルの簡単で実用的なフランス語を話す事ができる。
21GLIL0114	フランス語 I B	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。またフランス語という言葉を学ぶ事を通して、フランスの文化や風土への理解・関心を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語5級レベルの簡単で実用的なフランス語を話す事ができる。

4. 中国語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL0115	中国語 I	全て	初級レベルの中国語を習得する。 発音、基礎文型を学び、「読む・聞く・書く・話す」の総合的な中国語力を身につけ、実際に中国語を使って基礎的な会話ができることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・文法と読解が中心の“教養”中国語だけでなく、聞いて話せる、書ける、訳せるなど“実用”中国語を習得する。 ・挨拶、自己紹介などを中国語で行うことができる。 ・基礎的な中国語の表現を使って、日常の対話ができる。 ・中国語検定試験準4級・4級、HSK（漢語水平考試）3級を受験できる。
21GLIL0207	中国語 II	全て	準中級レベルの中国語を習得する。 基礎的な中国語力のある学生が、日常より多くの場面で中国語を使って会話できる力を身につけることを目的とする。会話に必要な語彙およびより高度な表現を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文法と読解が中心の“教養”中国語だけでなく、聞いて話せる、書ける、訳せるなど“実用”中国語を習得する。 ・日常生活、買い物、食事や旅行など想定できる様々な場面で、自分の意見や要望を的確に伝えることができる。 ・平易な文章、物語を読解できる。 ・中国語検定試験4級・3級、HSK（漢語水平考試）4級を受験できる。

5. イタリア語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL0116	イタリア語 I A	全て	学生は授業を通じて次の5点を目指す。 1. 学生はイタリア語の骨組を修得する。 2. テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全般の初歩をマスターする。 3. 文法では、全体の見通し（テキスト最終項目まで）を第一とする。 4. イタリアの生活文化に触れる。 5. グローバルな視点で活躍するためのリテラシーと基礎知識を修得する。	<p>学生は授業を通じて次の3つの目標の到達に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生は初級ではイタリア語特有の発音や、活用と語尾変化の基礎などをしっかり押さえた上で、簡単な日常会話の発話練習を行い、基本的な表現ができるようになる。 2. 「イタリア語 I A」を履修、修了して、基礎力が定着したと認められる学生は「イタリア語 I B」（ネイティブ講師指導）でさらなる語学力アップに挑戦できる。 3. 「イタリア語 I A」、「イタリア語 I B」を合わせて確実に履修すれば、イタリア語検定5級レベル程度の語学力を獲得できる。
21GLIL0117	イタリア語 I B	全て	学生は授業を通じて次の点を目指す。 *学生は初歩的なイタリア語を学ぶ。 *「聞く・話す・読む・書く」の技能全般の初歩をバランスよく学習する。 *簡単な日常会話、自己紹介、旅行会話ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> *ロールプレイを設定したコミュニケーションの表現を通して、主体的にイタリア語での会話ができるように導く反復練習を行う。 *イタリアの文化に触れ、理解を深め、将来の留学・研修にも役立つ実践的基礎力を培う。 *イタリア語 I A、イタリア語 I Bを合わせて履修すれば、イタリア語検定5級レベル程度の語学力を獲得できることを目標とする。

6. スペイン語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL0118	スペイン語 I	全て	スペイン語を初めて学習するものを対象とする。まず学生はスペイン語文法の基礎を身につけ、これを用いて平易な文章を理解し、さらにスペイン語による日常会話の習得を目的とする。 授業では、スペイン語圏の国々の歴史や文化的背景といったトピックなども適宜取り上げ、学生が語学の外へも興味を広げていくことを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語の基本文法の確認問題や発話練習を通じて、日常的に使われる表現を習得する。 ・スペイン語で挨拶や自己紹介ができる。 ・身近な話題について尋ねたり答えたりといった、基本的な表現ができる。 ・文法としては、直説法現在形までを扱う。（目安として、スペイン語検定6級程度の力を身につける）

7. ハングル

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL0119	ハ ン グ ル I	全て	韓国語の基礎を習得する。 教科書に紹介されている内容を中心に、韓国の文化についても学ぶ。	1. 韓国旅行をしたり、韓国人の友達を作ったりできる最低限の韓国語を身につける。 2. 韓国語の習得を通じて、人間関係を結べるコミュニケーション能力をつける。 3. TOPIK I (1級～2級)に対応できる語彙力・読解力・聴解力を身につける。
21GLIL0120	ハ ン グ ル I	全て	韓国語の基礎を学ぶ。コミュニケーション能力を身につけ、社会文化的背景を理解する。	1. ハングルが書け、音読できる。 2. 自己紹介ができる。 3. 決まり文句・挨拶表現が話せる。 4. 簡単な日常表現が話せる。 5. 数字を聞き取り、買い物ができる。 6. 基本文型を使った短い文が書ける。 7. 「ハングル能力検定試験」5級以上の能力に達する。
21GLIL0208	ハ ン グ ル II	全て	韓国語での意思疎通に必要な中級の語尾や語彙を習得する。 韓国語での情報発信能力と聴解能力をつける。 合わせて韓国や日本の文化的な内容も学ぶ。	1. 韓国人と円滑なコミュニケーションを取れる韓国語を身につける。 2. 韓国語の習得を通じて、人間関係を結べるコミュニケーション能力をつける。 3. 韓国文化についても学ぶ。 4. 日本の文化や、関西の名所などを韓国語で紹介する練習も行う。 5. TOPIK (韓国語能力検定) 2級から3級程度の合格を目指す。

8. 手話

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL4707	手 話	全て	国内で使用される言語の一形態として、手話言語を学ぶとともに聴覚障害者のことを知り、手話言語で簡単な会話ができるようになる。	挨拶や自己紹介、趣味や好きなことを手話言語で会話ができる。

9. 国際センター主催 語学留学プログラム

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL4708	特別 英語 演習 I	全て	学生が英語を母語とする社会において英語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、英語学習や異文化経験を通して欧米の文化・歴史・習慣を調べ、同時に自国の文化と比較することができる。
21GLIL4709	特別 英語 演習 II	全て	学生が英語を母語とする社会において英語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、英語学習や異文化経験を通して欧米の文化・歴史・習慣を調べ、同時に自国の文化と比較することができる。
21GLIL4710	特別 中国語 演習 I	全て	学生が中国語を母語とする社会において中国語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、言語習得を通して、中国(台湾)の文化、歴史、生活を知り、同時に自国の文化等と比較することができる。
21GLIL4711	特別 中国語 演習 II	全て	学生が中国語を母語とする社会において中国語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、言語習得を通して、中国(台湾)の文化、歴史、生活を知り、同時に自国の文化等と比較することができる。
21GLIL4712	特別 ハングル 演習 I	全て	学生が、韓国社会において生きた韓国語を学び、文化体験を通してその言語や文化を理解できるようになることを目的とする。	学生が、韓国社会で実践的に韓国語を学び、文化を実体験する。 学生が、韓国滞在中、韓国人の考え方や感じ方について考察し、東アジアにおける日本文化の位置づけを再認識できるようになる。
21GLIL4713	特別 ハングル 演習 II	全て	学生が、韓国社会において生きた韓国語を学び、文化体験を通してその言語や文化を理解できるようになることを目的とする。	学生が、韓国社会で実践的に韓国語を学び、文化を実体験する。 学生が、韓国滞在中、韓国人の考え方や感じ方について考察し、東アジアにおける日本文化の位置づけを再認識できるようになる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLIL4714	特別英語演習Ⅷ	全て	学生が英語によるコミュニケーション力を付け、アメリカ分校の教育に触れることを目的とする。	学生がこれまで学んだ英語を復習し、さらに基礎的な優しい表現を用い、身近な話題について英語で話すことができる。 また日本と異なる文化・歴史・生活を知り、同時に自国の文化と比較することができる。

言語・情報科目群（情報リテラシー科目）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLII0001	Accessデータベース基礎	全て	データベースソフト、Microsoft Accessの操作方法と活用方法およびタッチタイプを修得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Accessの基本的な操作ができるようになることを目標とする。 ・基本的なデータベースの概念が理解できることを目標とする。 ・キーボードを見なくても正しい運指でタッチタイプができるようになることを目標とする。
21GLII0002	情報社会を生きる技術	全て	パソコンやスマートフォンでインターネットを利用する上での情報セキュリティについて学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを安全に使用できるようになること。 ・インターネットの光と影の部分を認識できるようになること。 ・自らが使用するパソコンやスマートフォンの情報セキュリティに関する設定ができるようになること。
21GLII0003	Webデザイン基礎	全て	情報社会では、多くの情報が電子化され情報の蓄積・検索・発信が容易に行われるようになった。ホームページ（Webページ）はその典型であるが、この科目では、ホームページの作成に利用されるHTML言語の基礎を学び、ホームページの仕組みを理解することが目的である。さらに、HTML言語を用いて、オリジナルのホームページが作成できるようになることが、この科目の目的となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ作成に利用するプログラミング言語HTMLの特徴を説明できる。 ・HTMLの命令（タグ）について、一連の基礎的なタグの意味を説明できる。 ・ホームページ作成の際、使いやすさ、見易さという観点から、タグを活用できる。 ・最終目標として、オリジナルのホームページを作成できるようになる。
21GLII0004	Webデザイン応用	全て	基礎科目「Webデザイン基礎」の応用科目である。Web制作の基礎知識を土台にして、CSSを利用した実践的なWebサイトの制作技術を学ぶ。Webサイト制作の実習を行い、サイトコンセプトに応じたWebページを効率よく構築する技法を学習する。これにより今日のWebサイトの仕組みを理解し、仕様に応じたWebサイトを構築する手法を習得する。	<p>Webサイトを効率よく制作できるようになる。</p> <p>ユーザビリティと保守性を考慮した、CSSを活用したWebサイトを制作できるようになる。</p> <p>JavaScriptを用いたインタラクティブな機能を、Webサイトに組み入れられるようになる。</p> <p>パソコンとサーバーの役割の違いを知り、サーバー上でWebサイトを公開する仕組みが理解できるようになる。</p>
21GLII0005	Scratchによるプログラミング	全て	プログラミングを学習することにより論理的思考ができるようになり、問題解決能力を高めることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの概念を理解する。 ・論理的な思考ができるようになる。 ・問題解決能力を高める。
21GLII0006	グラフィックデザイン基礎	全て	自身の持つ情報を、より直感的にわかりやすく視覚的に表現する力が、これからのプレゼンテーションやコミュニケーションにおいて求められている。DTPなどグラフィックデザイン分野で、必要不可欠な技術となったコンピュータによるデザイン描画について、その基礎技法を習得する。DTP業界でデファクトスタンダードであるAdobe Systems社のIllustratorを用いた作品制作を実習し、その基礎制作手法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト、ロゴマーク、図面などの描画や、それを用いた広告物、ポスター、パッケージ、出版物、ノベルティグッズなどの制作では、グラフィック制作ソフトが利用される。その代表的なソフトであるIllustratorを用いて、印刷物やWeb素材が制作できるようになる。 ・基本的な操作方法からオリジナル作品制作まで実習し、視覚的な表現力や情報発信力を向上させる。 ・あわせてグラフィックデータの基礎知識（色モード、ベクターデータなど）が理解できるようになる。
21GLII0007	フォトタッチ基礎	全て	写真撮影が身近になり、容易に写真による伝達が可能になった。写真を編集し、自身が伝えたいイメージをよりわかりやすく表現する力が、これからのプレゼンテーションでの差別化に求められている。写真表現において、必要不可欠な技術となったコンピュータによるフォトタッチについて、その基礎技法を習得する。写真業界でデファクトスタンダードであるAdobe Systems社のPhotoshopを用いた作品制作を実習し、その基礎制作手法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・画像加工、印刷、イラストレーションなどの分野では、写真編集ソフトが利用される。その代表的なソフトであるPhotoshopを用いて、描画と補正・色調整・写真合成などの制作技法を習得する。 ・基本的な操作方法からオリジナル作品制作まで実習し、視覚的な表現力や情報発信力を向上させる。 ・あわせてラスター画像の基礎知識（解像度、階調、圧縮画像形式など）が理解できるようになる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GLII0008	データサイエンスの基礎とExcel	全て	情報化社会の進展により、私たちの暮らしは多くのデータで溢れている。多種多様な大量データをコンピュータで分析するデータサイエンスにおいて、その基礎となるのはデータを正しく扱い、適切な方法で分析し、価値のある情報を見出すことである。本講義では、データサイエンスの基礎として、人文科学、社会科学、自然科学、いずれの分野においても重要となる統計学の基本的な考え方と統計解析の手法を演習形式で習得することを目的とする。	①専門分野や周辺領域におけるデータサイエンスの活用事例を説明することができる。 ②Excelを使ってデータを度数分布表に集計し、データの種類や目的に応じてグラフで表現できる。 ③Excelを使ってデータの代表値、散布度の統計量を求め、データの特徴や傾向を説明することができる。 ④2変数間の関係を把握するために、Excelを使ってクロス表や散布図を作成し、その関連性について説明することができる。 ⑤アンケート調査データについて統計解析を行い、WordやPowerPointを使って、分析結果を第3者に分かりやすく表現することができる。
21GLII0009	データサイエンスの応用とExcel	全て	本講義は「データサイエンスの基礎とExcel」の発展科目として、推測統計学と多変量解析の基礎について学習する。また、ビッグデータ時代の到来により、大量なデータを活用する能力が必要とされているが、本講義ではデータによる問題の発見、調査の計画、データの収集と分析、結論の導出など、一連の過程を体験し、データに基づいて課題を解決する能力を身につけることを目的とする。	①母集団と標本集団の関係を理解し、分析するデータの種類やデータの分布を把握することができる。 ②仮説検定の方法を正しく選択し、Excelを使って検定を行うことができる。 ③統計解析ソフトウェアを利用し、目的に応じた多変量解析を行うことができる。 ④WordやPowerPointを使って分析結果を分かりやすく表現することができる。
21GLII0010	データリテラシー・AIの基礎	1年のみ	AI・データサイエンスに関して興味・関心を持ち、AI時代に身につけておくべき素養（新たな読み書きそろばん）を習得し、日常や仕事の場で使いこなせるようになる。	○AI・データサイエンスの必要性を説明できる。 ○社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる。 ○どのような思考方法でデータを扱うか説明できる。 ○データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる。

健康・スポーツ科目群（健康・スポーツ科学科目）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GHSS0001	スポーツと栄養	全て	スポーツ選手における体力の維持、競技成績向上のために、トレーニングとともに適切な食事が重要である。そのために必要な基礎的栄養学知識を身につけ、競技スポーツ、健康の維持・増進のためのスポーツにおける食事に関しても理解を深める。知識の習得と共に、指導の場での応用方法や必要となるスキルを会得する。	五大栄養素のスポーツにおける役割を理解し、それぞれを応用して競技力向上のための活用方法および具体例まで挙げられるようにし、スポーツをする人を対象とした指導媒体を作成できる程度の知識を習得する。
21GHSS0002	障害者とスポーツ	全て	障がい者の親しんでいるスポーツ・レクリエーションの現状を理解し、身近な障がい者へのスポーツ活動の支援に役立てることを目的とする。	障がいについての基本的な知識を身につけることができる。 障がい者のスポーツの捉え方、歴史、組織、競技・種目、ルール等を理解することができる。 障がい者の生活、障がい者のスポーツ活動を通して、社会のあり方について考えることができる。
21GHSS0003	知っておきたい応急処置	全て	学校や日常生活の中で起こりえる急病やけがに適切に対処できる方法について正しく知り、活用できることを目的とする。	1. 基本的な応急手当の知識を習得できる。 2. 一次救命の正しい方法を知り、基本的な対処と処置ができる。
21GHSS0004	女性の健康と運動	全て	現代社会では、科学技術の発展や車社会の発達により身体を動かすことが極端に少なくなり、運動不足による弊害も叫ばれている。特に将来、母体と成り得る女性が健康的に美しくなることは非常に大切なことである。今回の授業ではスポーツ科学に基づき女性の健康美を追求していく。	1) 過去から現代まで、女性が何を目的として運動を行ってきたかを理解する。 2) 体力の基本概念を理解し、女性と男性の体力の違いを明らかにする。 3) 女性と男性の体型の違いを理解し、加齢に伴う体型の変化や、時代による体型の違いを明らかにする。 4) 肥満の判定基準を理解し、肥満改善の為の運動の方法を学習する。 5) 痩せの判定基準を理解し、若い女性にとって痩せ過ぎが如何に怖いことであるかを学習する。 6) 更年期障害とは何かについて学習し、更年期障害の対処方を学ぶ。 7) 骨粗鬆症とは何かについて学習し、骨粗鬆症の予防法を学ぶ。 8) 運動処方とは何かを学習し、安全に目的にあった運動処方を立案できるようにする。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GHSS0005	生涯スポーツ論	全て	スポーツは現代社会において不可欠な文化と考えられる。この授業の第一の目的はスポーツに関するさまざまな視点からの知識を学び獲得すること。さらに、今後のライフステージにおける豊かな社会生活にそれらの知識を活かすことである。	授業を通して、スポーツに関する多面的な知識を正しく理解する。その知識を元に他者とディスカッションできる能力を身につける。また、生涯にわたるスポーツ実践の基礎となる知識を身につける。
21GHSS0006	スポーツと現代社会	全て	現代のスポーツは、政治・経済・教育など、私たちの生活と密接に関連する文化現象となっている。本講義では、スポーツの歴史や文化現象を通して、スポーツの文化的特質や社会的役割を理解する。	本講義では、以下のような資質を習得してもらいたい。 ①スポーツの成り立ちや多様な文化現象を学び、現代社会における文化としてのスポーツの意義や社会的機能を理解する。 ②現代スポーツが直面する諸問題を理解し、批判的にスポーツ現象に対する問いを立てる思考力を身につける。 ③現代スポーツの諸課題を通して、これからの私たちの生き方や日本社会の方向性を考えることができる。

健康・スポーツ科目群（スポーツ実技科目）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GHSE0001	スポーツ実技（テニス）	全て	テニスは生涯スポーツであり何歳になっても楽しめるスポーツである。授業では基本技術の習得、ゲームのルールやテニスのマナーを学び応用技術を実習しゲームができるように学習する。できる喜びを感じる。	テニスの基本技術と応用技術とルールを学び試合ができることを目標とする。テニスの楽しさを学ぶ。
21GHSE0002	スポーツ実技（ゴルフ）	全て	ゴルフスイングの練習を通して身体を動かす楽しみや充実感を味わうことが主な目的。またゴルフに関する様々な知識を増やすことを目的とする。	ゴルフスイングを正しく習得すること。ゴルフの競技特性を理解すること。生涯スポーツであるゴルフを自立的に楽しめるようになることを目標とする。
21GHSE0003	スポーツ実技（バレーボール）	全て	バレーボールの楽しさは、一つのボールをつなぎやラリーを行うことにある。本授業では、基本技術の習得やルールおよび審判方法など種目の特性を知ることができる。また、仲間と楽しみながらゲーム体験をし、生涯において健康的な生活を送るための健康づくりや生涯スポーツへのきっかけとなる運動体験ができる。	バレーボールは集団スポーツであることから、集団的機能による共同性を養うことができる。また、本競技の本質的楽しさを知るために、個人到達目標として基本動作となるオーバーハンドパス・アンダーハンドパスおよびサーブ・レセプション（サーブレシーブ）・ディグ（スパイクレシーブ）・スパイクなどの個人技能の習得や他者を介してのボールコントロールを身につけることができる。
21GHSE0004	スポーツ実技（バドミントン）	全て	生涯スポーツとして、年齢男女問わず、レクリエーションにも競技的にも楽しむことのできるバドミントン。そのバドミントンの特性を、するスポーツ、観るスポーツ、支えるスポーツとして等、様々な角度から理解し、楽しさを多角的に学ぶことを目的とする。	バドミントンの基本的なストローク技術やシングルス・ダブルスのルールの理解、習得する。それらをベースとして試合を楽しみ、プレーすること、他者のプレーを観る・応援すること、試合運営を支えあうこと等から、多角的な楽しさ、バドミントンへの携わりを学ぶ。
21GHSE0005	スポーツ実技（ジャズダンス）	全て	バレエから派生し広まったとされるジャズダンスは、全世界のエンターテインメント界でもっとも親しまれているジャンルである。本授業では、ジャズダンスの中でも、王道のミュージカルダンス、観客に感動を与えるテーマパークダンス、そして現代のアイドルブームによりジャンル化されてきたアイドルダンスの3スタイルを学ぶ。	学生の到達目標： 1. 学生は、ミュージカルダンス/アイドルダンス/テーマパークダンスを基礎から学ぶことができる。 2. 学生は、各スタイルにおいて習得した内容を授業内で発表することができる。 3. 学生は、授業内発表後、授業での学び（ダンスの楽しさ/面白さ/奥深さ）を口頭で発表することができる。
21GHSE0006	スポーツ実技（エアロビクス）	全て	音楽に合わせて、リズムカルに楽しく身体を動かし、健康・体力づくりができるのがエアロビックダンスである。本授業では、健康・健康体力づくりに役立つ知識を学び、エアロビックダンスで身体を動かし、生涯に渡って楽しくフィットネスライフを継続できるようになることが目的である。	毎回の授業において、日常生活や自宅や学校等で、エアロビクスを取り入れ、いつでもどこでもできるトレーニングやストレッチを実践できるようになることが目標である。
21GHSE0007	スポーツ実技（スリムエアロ）	全て	健康・体力づくりを目的としたエアロビックダンスについて、その特徴や運動内容を理解し、正しい身体の使い方や振付を学ぶ。本授業では、体力向上、シェイプアップを中心に楽しくエアロビックダンスを行い、学生生活から生涯において運動がライフスタイルに根付くことを目指す。	エアロビックダンスの基本実技から様々なステップバリエーションを学習することで、音楽と一体感のある振付を楽しむことができ、エアロビックの技術向上を目標とする。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GHSE0008	スポーツ実技（ダンスエアロ）	全て	健康・体力づくりを目的としたエアロビックダンスについて、その特徴や運動内容を理解し、正しい身体の使い方や振付を学ぶ。本授業では、様々なリズムの音楽を使ったダンス要素の動きを取り入れたエアロビックダンスを中心に学び、ダンス初心者でも取り組むことができる内容とする。学生生活から生涯において運動がライフスタイルに根付くことを目指す。	エアロビックダンスの動きに、ジャズダンスやヒップホップ、ラテン系を中心とした動きを取り入れた実技を行い、音楽と動きを楽しむことができ、技術向上を目標とする。
21GHSE0009	スポーツ実技（水泳）	全て	水泳の基本的技術と水泳に関する知識を理解し、自己の水泳能力を高める。この授業を通じて得られた水泳の知識・技能を生涯にわたる健康的なスポーツライフに活かせることが目的である。	正しい水泳の知識を獲得する。その知識をもとに正しい水泳の技能を身につける。リラックスして泳ぐことができる。到達目標は受講生それぞれによって異なるが、それを達成できるようにする。全体的な目標は、正しく美しい泳ぎを余裕を持って泳げるようになることである。
21GHSE0010	スポーツ実技（軽スポーツ）	全て	トランポリン運動は、三次元スポーツ！ 空中で自分の体を動かし新たな身体能力を発見しよう。 個人スポーツなので各自のレベルに合わせて楽しく運動することができる。 また全身運動により美しいプロポーション作りに役立つ。 脳の活性化・持久力・瞬発力・バランス感覚を養うことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. バランス感覚を身につける。 コア・トレーニングができる（普段運動不足の学生） インナー・マッスルがさらに強化される（運動クラブの学生） 2. 脳の活性化・体力の向上を図る。 学業のプラスに繋がる（トランポリンを使用の動作全て） 3. 生涯スポーツとして役立つ。 一度身につけた感覚は忘れない為。 <p>※トランポリン運動は不安定な場所で行う為、頭と身体を一度に使う為、認知症の予防や障害者の回復運動にも利用できます。</p>
21GHSE0011	スポーツ実技（遊びと障害）	全て	障がいのある人が遊びやスポーツを楽しみ、身体と心を動かすことの大切さに気づいていく。そのためにも様々な遊びや運動、スポーツを取り上げ、その体験を行うことによって、障がいのある人が遊びを通じて得るものは何かを学び、社会や他者に発信するものは何かを考えていく。	障がいとは何か、また障がいのある人が遊びやスポーツを楽しむということはどのようなものなのか、実際に体験することにより「決して特別なことではない」ということを理解する。
21GHSE0012	スポーツ実技（ヨガ）	全て	近年、AI機能やスマートフォンの進化により、とても便利な社会である反面、運動不足や不規則なライフスタイルから心身の不調を起している人が増えている。運動が体、心、脳に良い効果があることは、多くの研究報告から明らかになっているが、その中でもヨガは、時代の流れと共に変遷され、医学や心理学、企業での人材育成や能力開発など、様々な分野に活かされている。そのヨガの知恵を現代社会に取り入れやすいかたちで、実技を中心に体験学習する。学生生活また卒業後も心身のバランスを保つセルフコンディションワークとして身につけることを目的とする。	<p>*15回の授業で、柔軟性、筋持久力、心肺機能など基礎体力が徐々に向上するが、実技体験から感じたこと、気づきを、まとめ発表する。</p> <p>*授業で学んだことを、自己のコンディションワークとして取り組みやすいようにまとめ実践する。</p> <p>*授業では、多種多様なヨガアプローチを体験する。古来からのヨガの智慧を社会システムの変化が著しい現代社会の流れに合うように、斬新なヨガを体験することでクリエイティブな発想へと繋がる。</p>
21GHSE0013	スポーツ実技（サッカー）	全て	サッカーのルールや特性を学び、個人技術を向上させチームスポーツとしてゲームを楽しめるようにする。	サッカーの競技特性を理解し、身体を動かす楽しみや充実感を味わいながらチームワークを養い、また観戦の方法を学び、生涯にわたってスポーツを楽しむ能力と態度を養う。
21GHSE0014	スポーツ実技（ビーチバレー）	全て	ビーチコートにおいて「はだし」で球技スポーツを楽しむ。 バレーボールとビーチバレーの違いを知り、ビーチバレーを楽しむ。 またビーチバレーを通して自然環境と向き合う。	自然環境下でバレーボールを行ない、砂、風に慣れること。ビーチバレーのルールで競技ができるようになること。
21GHSE0015	からだ気づきと姿勢法	全て	ネヘミア・コーヘン氏によってカナダで開発された姿勢調整法であるミツヴァ・テクニックを中心に、その基本的概念と実践の方法を学ぶ。授業では基本エクササイズを体得すること、またその過程において自己のからだの在り方に目を向け、耳を傾けることで、からだへの気づきを促すことを目的とする。	学生が自分の習慣やからだの使い方の癖を見つめ直すことを通じて、からだへの気づきと姿勢調整の意味を理解する。各自ミツヴァ・エクササイズとその補助エクササイズを継続的にできるようにする。
21GHSE0016	スポーツ実技（バンジーエクササイズ）	全て	医師であり運動科学者が発明したドイツ発の日本最新エクササイズです。様々な人々への体力づくりのために考案されました。このエクササイズを学ぶことで自身のより高い体力の向上を目指す。	現在、自分自身の持っているすべてのスキルとフィットネスレベルを向上し、日常生活あるいは運動を実施するうえで必要なバランス能力、反応能力さらには体幹も含めた筋力アップなど全身のコーディネーション能力を養うことを目標とする。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GHSE0017	スポーツ実技 (エアリアルワーク)	全て	昨今、AI機能の進化や医学の発展により、物質的に豊かな成熟社会ではあるが、その反面、多くの人が運動不足や不規則なライフスタイルから心身のアンバランス、不調を起している。こうした背景で、運動による効果は、肉体的な面は勿論のこと、メンタル、脳へも良い効果がある。エアリアルワークの体験学習を通じて、学生生活、そして卒業後も心身の健やかさを保つ方法として身につけることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体構造を踏まえた動作を体感し、その理解について、実際に動作で示すことができる。 ・姿勢改善や基礎体力（筋力、柔軟性、筋持久力、バランス、コントロール力）の向上。 ・エアリアルの機能的な動き方を自己のセルフコンディショニングワークとして役立てられるよう身体の使い方を意識する。
21GHSE0018	スポーツ実技 (スタイルジャズ)	全て	学生は、スタイルジャズを学ぶことにより今日の理解を深め、身体表現の幅を豊かにすることを目的とする。	<p>学生は、スタイルジャズにより局に合わせた動きを表現することができる。</p> <p>学生は、構成を学ぶことにより作品の組み立て方を理解し、ダンスの表現だけでなく作品としての表現もすることができる。</p> <p>学生は、振付・構成の一部を考え、教え合うことにより指導者の立場を経験し、効果的な指導法を表現することができる。</p>

短大・初年次ゼミ 学び発見ゼミ

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
21GJSM0001	短大 学び発見ゼミ	全て	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。 すなわち、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。	授業の目的を踏まえ、各ゼミのテーマに沿った課題を個別に提示し取り組み理解する。